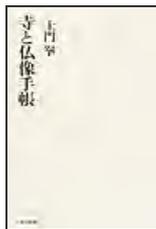


## 書評 201811



### 寺と仏像手帳

土門 拳、藤森 武、堀内 伸二 著

東京書籍

独自の撮影方法を考案し、圧倒的な完成度の仏像写真を発表した土門拳。仏像と寺に生命をかけて対峙した写真家の写真と名文章で、京都・奈良・飛鳥を中心に、日本各地の寺と仏を紹介する。専門家による各寺のガイドも掲載。

2018:9./ 216p

978-4-487-81193-9

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/11/03



### どんまい

重松 清 著

講談社

どんな人生にも、打席はまわってくる。かつての甲子園球児、要介護の親を田舎に抱えるキャプテン、夫に“捨てられた”妻と娘…。草野球チームを通して交錯する「ふつうの人々」の人生を描く。『小説現代』掲載を単行本化。

2018:10./ 473p

978-4-06-511930-3

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/11/04



### 上皇の日本史(中公新書ラクレ 630)

本郷 和人 著

中央公論新社

「上皇」とはどのような存在だったのか? 200年ぶりの天皇譲位を前に、知っておきたい上皇の歴史をわかりやすく解説。現代における天皇・皇室、そして日本と日本人を考えるための視座を提示する。

2018:8./ 301p

978-4-12-150630-6

本体 ¥880+税



産経新聞 2018/11/04



### 中高年に効く!メンタル防衛術(文春新書 1183)

夏目 誠 著

文藝春秋

蓄積される疲労、変わりゆく労働環境…。中高年のメンタルが悲鳴を上げている。産業医を40年間務め、日本の職場を知り尽くした精神科医が、「うつ状態」にならないための働き方&暮らし方を指南する。

2018:9./ 191p

978-4-16-661183-6

本体 ¥800+税



産経新聞 2018/11/04



### ため池の外来生物がわかる本~池の水をぬいた!~

加藤 英明、越井 隆 著

徳間書店

「ため池」の歴史から、池の水をぬいて、ゴミや外来生物をとりのぞく「かいぼり」のこと、そして「外来生物」についてまで、テレビでも活躍する農学博士が、写真とイラストを多用してわかりやすく解説する。

2018:8./ 47p

978-4-19-864665-3

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/11/04

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2018年11月時点での税抜価格です。



### 90歳を生きること～生涯現役の人生学～

童門 冬二 著  
東洋経済新報社

人生、起承転々。呻きの中にも喜びあり。“生涯現役、一生勉強”をモットーに作品を書き続け、講演活動も精力的に行う90歳の歴史小説家に学ぶ、最後の一日まで悔いなく生きる秘訣。『週刊東洋経済』連載を加筆修正、再構成。

産経新聞 2018/11/04

2018:10./ 221p  
978-4-492-04632-6  
本体 ¥1,200+税



### 中国が支配する世界～パクス・シニカへの未来年表～

湯浅 博 著  
飛鳥新社

安全保障、経済、科学技術、そして人口などから「大国の興亡」のその後を俯瞰し、来るべきパクス・シニカ(中国による世界支配)の可能性とその限界を探る。さらに、歴史年表を振り返りながら、日本のなすべきことを考察する。

産経新聞 2018/11/04

2018:10./ 295p  
978-4-86410-621-4  
本体 ¥1,389+税



### 鳥居強右衛門～語り継がれる武士の魂～(中世から近世へ)

金子 拓 著  
平凡社

天正3年の長篠合戦で朽ちた無名の兵は、なぜ数多の文献に名を残し旗に姿を描かれたのか。自らの命を顧みず、礫に散った侍、鳥居強右衛門の名が現代にまで残った理由を解き明かす。

産経新聞 2018/11/04、読売新聞 2018/11/18

2018:9./ 295p  
978-4-582-47741-2  
本体 ¥1,800+税



### セゾン～堤清二が見た未来～

鈴木 哲也 著  
日経BP社

先の見通せない時代に生きる私たちに、堤清二が語りかけるものとは。無印良品、西武百貨店、パルコなど「セゾングループ」と堤が生み出した先駆企業の栄光と苦闘を振り返り、異能の経営者が目指した世界を探る。

産経新聞 2018/11/04、日本経済新聞 2018/11/24

2018:9./ 309p  
978-4-8222-5605-0  
本体 ¥1,800+税



### 小説透明なゆりかご<上>(講談社文庫 た129-2)

沖田 華、橘 もも、安達 奈緒子 著  
講談社

看護師見習いとして産婦人科でアルバイトを始めたアオイ。中絶や出産の壮絶な現場に戸惑いながらも、次第に命の重みを感じていき…。同名ドラマを原案に書き下ろした小説。

産経新聞 2018/11/10

2018:8./ 232p  
978-4-06-512562-5  
本体 ¥640+税



### 小説透明なゆりかご<下>(講談社文庫 た129-3)

沖田 華、橘 もも、安達 奈緒子 著  
講談社

由比産婦人科を訪れる、さまざまな表情をした妊婦たち。母となる者、消えた命を静かに見送る者-。そんな母子の姿を間近で見つめながら、アオイは自分の母に想いを馳せ…。同名ドラマを原案に書き下ろした小説。

産経新聞 2018/11/10

2018:9./ 310p  
978-4-06-512563-2  
本体 ¥660+税





### 日本は誰と戦ったのか～コミンテルンの秘密工作を追及するアメリカ～

江崎 道朗 著  
ベストセラーズ

戦後の常識が全てひっくりかえる! ロシア革命から 100 年、今明かされるスターリンの戦争犯罪。アメリカの反共保守派による「日米戦争」に関する最新研究を通して、日米を戦争に追い込んだソ連の謀略をつまびらかにする。

2017:11./ 303p  
978-4-584-13829-8

本体 ¥1,157+税



産経新聞 2018/11/10



### くろいの

田中 清代 著  
偕成社

ひとりで帰るいつもの道で、女の子が出会った不思議ないきもの“くろいの”。ある日、“くろいの”についていってみると…。細やかな銅版画で愛情をこめて描いた、あたたかな世界。

2018:10./ 64p

978-4-03-332880-5

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/11/11



### 古典歳時記(角川選書 606)

吉海 直人 著  
KADOKAWA

折々の暮らしに根ざしたテーマを厳選し、時事的な話題・歴史的な出来事を入りに、四季折々のことばの語源と意味を解き明かす。京都文化や、文学の知識も学べる古典文学の案内書。

2018:9./ 216p

978-4-04-703657-4

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/11/11



### 未来の中国年表～超高齢大国でこれから起こること～(講談社現代新書 2480)

近藤 大介 著  
講談社

2020 年、適齢期男性 3000 万人が結婚難民に。2049 年、建国 100 周年を祝う 5 億人の老人…。「最も信頼できるデータ」と言える人口の詳細なデータをもとに、未来の中国を年表形式で描く。

2018:6./ 221p

978-4-06-512048-4

本体 ¥800+税



産経新聞 2018/11/11



### 任務の終わり<上>

スティーヴン・キング、白石 朗 著  
文藝春秋

ホッジズのもとに刑事から連絡が入る。6 年前の大量殺傷事件で後遺症を負った娘を、母親が殺害後に自殺したらしい。事件の犯人は入院中で意思疎通も困難な状況にあり…。「ミスター・メルセデス」にはじまる 3 部作完結編。

2018:9./ 296p

978-4-16-390906-6

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/11/11



### 任務の終わり<下>

スティーヴン・キング、白石 朗 著  
文藝春秋

6 年前の大量殺傷事件の犯人が何かを画策している。だが彼は病室を出ることもできない。ホッジズは連続自殺事件の調査を開始するが、愛する者の身にまで死の触手は伸びて…。「ミスター・メルセデス」にはじまる 3 部作完結編。

2018:9./ 331p

978-4-16-390907-3

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/11/11



**王室と不敬罪～プミポン国王とタイの混迷～(文春新書 1180)**

岩佐 淳士 著  
文藝春秋

王室という絶対的な権威が君臨するタイ社会には、外部からは窺い知れないダークサイドがある。「不敬」のレッテルを政争の具に用いる権力者、繁栄をもたらした「タイ式民主主義」の裏で拡大する格差...気鋭の記者が迫る。

2018:8./ 223p  
978-4-16-661180-5  
本体 ¥920+税



産経新聞 2018/11/11



**人生はどこでもドア～リヨンの14日間～**

稲垣 えみ子 著  
東洋経済新報社

遠い異国の地で人とつながろうと奮闘する中で見えてきた、幸せの形とは。海外旅行が苦手なのに何の準備もせず、いきなりヨーロッパへと旅立った著者が、自炊しながら滞在した美食の街フランス・リヨンでの14日間を綴る。

2018:10./ 289p  
978-4-492-04637-1  
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/11/11



**あめんぼう～御納屋侍伝八郎奮迅録～(双葉文庫 な-45-01)**

長辻 象平 著  
双葉社

時は元禄4年。長屋に住む鮎貝伝八郎のもとに、尾張藩の家老稲葉主膳と名乗る男が訪ねてくる。男は、伝八郎を奉行職で召し抱えろと言う。思わぬ士官話に伝八郎は甘い考えで飛びつくが、そこには予期せぬ落とし穴が...

2018:10./ 364p  
978-4-575-66917-6  
本体 ¥685+税



産経新聞 2018/11/11



**北朝鮮がつくった韓国大統領～文在寅政権実録～**

李 相哲 著  
産経新聞出版

文在寅政権誕生以来、韓国社会は分裂の度合いを深めている。文在寅のような親北朝鮮志向を隠そうともしない政治家が、なぜ韓国国民の支持を得ているのかを探る。『産経新聞』大阪本社発行版連載に加筆、再構成。

2018:10./ 237p  
978-4-8191-1347-2  
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/11/11



**ディアローグ デュラス/ゴダール全対話**

マルグリット・デュラス、ジャン=リュック・ゴダール、シリル・ベジヤン 編  
マルグリット・デュラス、ジャン=リュック・ゴダール、福島 勲 著

読書人

かろうじて存在しているかも知れない映画やサルトル、キスなどをめぐる、真摯で滑稽な言葉のやりとり。作家マルグリット・デュラスと映画作家ジャン=リュック・ゴダールによる3回の対話を収録。詳細な註も付す。

2018:10./ 203p,10p  
978-4-924671-34-8  
本体 ¥2,800+税



産経新聞 2018/11/11



**大人のための儒教塾(中公新書ラクレ 635)**

加地 伸行 著  
中央公論新社

お墓、位牌、仏壇、先祖供養...。これらは本来の仏教ではなく、儒教に由来するものである。儒教の歴史と展開を辿り、家族のあり方、冠婚葬祭、老後や死の迎え方など、日本人に深く根ざす、儒教の真の姿をやさしく説く。

2018:11./ 267p  
978-4-12-150635-1  
本体 ¥840+税



産経新聞 2018/11/18



### 建築家夫婦のつくる居心地のいい暮らし

八島 正年、八島 夕子 著  
オーム社

いくつもの家を設計する傍ら、自らも暮らしに工夫を重ねてきた建築家夫婦が「居心地のいい場所」「使いやすいということ」「保つ・整える」「招く・祝う」などをテーマに、日々の暮らしを楽しく豊かにするコツをやさしく語る。

2018:10./ 189p  
978-4-274-22267-2  
本体 ¥1,900+税



産経新聞 2018/11/18



### 笠原和夫傑作選<2> 仁義なき戦い

笠原 和夫 著  
国書刊行会

日本映画史に燦然と輝く名作群をのこした日本最大の脚本家・笠原和夫、初の選集。第2巻は、「仁義なき戦い」4部作ほか、未映画化の問題作「実録・共産党」「沖縄進撃作戦」などを収録。

2018:9./ 445p  
978-4-336-06310-6  
本体 ¥5,000+税



産経新聞 2018/11/18



### 帝都一の下宿屋

三木 笙子 著  
東京創元社

小説家の湧水は、家事万能の大家・桃介の元を追い出されないよう我儘を封印して生活している。ある日、桃介と縁の深い店の悪い噂を聞いた湧水は、真相解明に乗り出し…。『ミステリーズ!』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2018:8./ 241p  
978-4-488-02792-6  
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/11/18



### 折信夫秘恋の道

持田 叙子 著  
慶應義塾大学出版会

彼は恋の至福を人生のしるべとして生きた人である。その生きかたを、創作にも学問にも濃く反映した詩人学者である。大阪の少年時代から若き教師時代、晩年まで、喜びと悲しみに彩られた折信夫の人生をたどる。

2018:9./ 478p  
978-4-7664-2532-1  
本体 ¥3,200+税



産経新聞 2018/11/18、朝日新聞 2018/11/24



### ふくろうの赤ちゃん～もふもふもふもふ?～

大橋 弘一、講談社ビーシー書籍出版部 編  
大橋 弘一 著

講談社

春?初夏の北海道で出会えるエゾフクロウのひなたちは、“ふわふわ”で“もふもふ”。まるで天使みたい! エゾフクロウのひなたちの成長を、彼らが暮らす森の中の雰囲気まで伝える写真で紹介しします。

2018:10./ 95p  
978-4-06-513122-0  
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/11/24



### 正義とは何か～現代政治哲学の6つの視点～(中公新書 2505)

神島 裕子 著  
中央公論新社

米国の政治哲学者ロールズの考えを起点にリバタリアニズム(自由至上主義)やコミュニタリアニズムなど6つの思想潮流から正義とは何かを問う。格差や貧困など現実課題との接点に、平等な社会の可能性を探る。

2018:9./ 4p,271p  
978-4-12-102505-0  
本体 ¥880+税



産経新聞 2018/11/24、読売新聞 2018/11/25



### #名画で学ぶ主婦業

宝島社

眠らない我が子、毎日続く家事、自由奔放な夫、義母とのすれ違い…。止まらない心の叫びを主婦たちが「名画」にのせてツイートする、Twitter の人気ハッシュタグ「#名画で学ぶ主婦業」を書籍化。名画の解説も掲載する。

産経新聞 2018/11/25

2018:8./ 127p

978-4-8002-8666-6

本体 ¥1,200+税



### 犬がうまれる～絵と言葉の犬あるある 101...あ、猫もちよっぴり～

雲がうまれる 著

ワニブックス

犬のあるある的な表情やしぐさとユーモラスなことばに、ほっこりしたり、うるっときたり。ツイッターに投稿された、かわいさとせつなさが同居した作品から 101 点を厳選収録。「犬しぐさ犬ことば」の続編。特製シール付き。

産経新聞 2018/11/25

2018:10./ 127p

978-4-8470-9690-7

本体 ¥1,380+税



### あの映画に、この鉄道

川本 三郎 著

キネマ旬報社

失われゆく鉄道の風景が映画のなかに甦る。評論家で鉄道ファンでもある川本三郎が、日本映画に登場した全国の鉄道を廃線になった鉄道も含めて紹介。各地域の路線図、駅舎や車両の写真も多数収録。

産経新聞 2018/11/25

2018:10./ 328p,14p

978-4-87376-461-0

本体 ¥2,500+税



### クリスマス～アッタとタッタのさがしもの～

b.b.クローニン、しまお まほ 著

リトル・モア

今日はクリスマスイブ。アッタとタッタは、まだツリーの飾りつけが終わっていないじいじのおうちに、お手伝いにやってきました。だけどツリーの飾りが行方不明で…。色彩あふれる、楽しい探し絵本。

産経新聞 2018/11/25

2018:11./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-89815-482-3

本体 ¥1,900+税



### 「木の国」日本の新しい空間と技術～公共建築を木でつくるためのガイドブック～

次世代公共建築研究会 木造建築部会 著

公共建築協会

産経新聞 2018/11/25

2018:10./ 426p

978-4-908525-24-7

本体 ¥4,000+税



### 本を贈る

笠井 瑠美子 著

三輪舎

大切な人が困っているとき、金銭だけでなく、私たちは言葉を贈ることもできる。編集者から装丁家、校正者、印刷、製本、取次、営業、本屋まで、贈るように本をつくり、本を届ける 10 人が自身の仕事や、本への想いを綴る。

産経新聞 2018/11/25

2018:9./ 301p

978-4-9908116-3-1

本体 ¥1,800+税





**高坂正堯～戦後日本と現実主義～(中公新書 2512)**

服部 龍二 著  
中央公論新社

日本における国際政治学の最大の巨人・高坂正堯。彼の主著、歴代首相のブレーンとしての活動を中心に生涯をたどり、戦後日本の知的潮流、政治とアカデミズムとの関係を明らかにする。

2018:10./ 6p,410p  
978-4-12-102512-8

本体 ¥1,000+税



産経新聞 2018/11/25、読売新聞 2018/11/25



**運命～文在寅自伝～**

文 在寅、矢野 百合子 著  
岩波書店

2012年12月の大統領選に向けて「出馬宣言」として刊行された、文在寅の自伝。「問題児」から「人権弁護士」への足跡、そして運命を導いた故・盧武鉉大統領との歩みを綴る。書き下ろし「日本語版への序文」も収録。

2018:10./ 17p,408p  
978-4-00-022239-6

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2018/11/03



**院内カフェ(朝日文庫 な 51-1)**

中島 たい子 著  
朝日新聞出版

どこか不安な私たちは、あのカフェで、病院の傍らにすることで、癒されている。総合病院のカフェを舞台に、ふた組の中年夫婦の心と身体と病を描いた長編小説。

2018:9./ 232p  
978-4-02-264897-6

本体 ¥620+税



朝日新聞 2018/11/03



**ペットと葬式～日本人の供養心をさぐる～(朝日新書 687)**

鵜飼 秀徳 著  
朝日新聞出版

「うちの子」であるペットは、人間同様に極楽へ行けるのか? ペット葬を中心に、クジラ、マグロから蚕、シロアリ、AIBO、紙まで、なんでも供養してしまう世界でも類をみない日本人の尽きぬ慈悲心に迫る。

2018:10./ 303p  
978-4-02-273788-5

本体 ¥890+税



朝日新聞 2018/11/03



**カサンドラ症候群～身近な人がアスペルガーだったら～(角川新書 K-235)**

岡田 尊司 著  
KADOKAWA

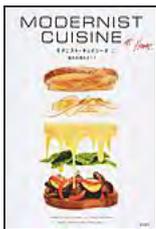
カサンドラ症候群とは、ある種の障害や特性により心が通わない夫(または妻)をもったパートナーに生じる心身の不調。カサンドラ症候群の概要や症状、対処法について紹介する。

2018:10./ 247p  
978-4-04-082269-3

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/11/03



**モダニスト・キュージーヌアットホーム～現代料理のすべて～**

ネイサン・マイアーボールド、マキシム・ビレット、山田 文、田畑 あや子、内藤 典子、辻調グループ辻静雄料理教育研究所 著  
KADOKAWA

科学とテクノロジーが可能にした現代料理(モダニスト・キュージーヌ)の原理と技術的要点を、実践例とともに解き明かした「料理の手引き」。調理器具や食材について説明し、日常的な料理を中心に406のレシピを掲載する。

2018:9./ 25p,379p,52p  
978-4-04-106124-4

本体 ¥15,000+税



朝日新聞 2018/11/03



**ミッドナイト・ジャーナル(講談社文庫 ほ 40-8)**

本城 雅人 著  
講談社

被害者女兒死亡。誤報を打ち、飛ばされた 3 人の新聞記者。さいたま支局の関口豪太郎、本社の遊軍記者・藤瀬祐里、整理部員の松本博史。7 年後、児童連続誘拐事件が発生する。豪太郎はかつての事件との関連性を疑うが...

2017:12./ 477p  
978-4-06-293810-5  
本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/11/03



**レプリカたちの夜(新潮文庫 い-133-1)**

一條 次郎 著  
新潮社

動物のレプリカ製造工場に勤める往本は、残業中の深夜、動くシロクマを目撃する。だが、この世界において野生のシロクマはどうに絶滅したはずだった。往本は工場長に呼び出され、動くシロクマの正体を内密に探るよう頼まれる。

2018:10./ 325p  
978-4-10-121651-5  
本体 ¥550+税



朝日新聞 2018/11/03



**どこにでも神様～知られざる出雲世界をあるく～**

野村 進 著  
新潮社

庭に神様、巨木に神様、膝小僧にも神様がいる...。出雲、石見、境港を旅して出会った、神々と人が織りなす「驚きの暮らし」を紹介する。『波』連載に加筆し単行本化。

2018:8./ 315p  
978-4-10-444502-8  
本体 ¥1,650+税



朝日新聞 2018/11/03



**恐竜探偵足跡を追う～糞、嘔吐物、巣穴、卵の化石から～**

アンソニー・J.マーティン、野中 香方子 著  
文藝春秋

足跡や巣穴や糞といった、恐竜の行動の痕跡が残された化石(生痕化石)は、骨よりはるかに多くのことを教えてくれる。史上初めて恐竜の巣穴の化石を発見した学者が、探偵のように恐竜の足跡を追う。

2017:8./ 454p  
978-4-16-390702-4  
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/11/03



**監禁面接**

ピエール・ルメートル、橘 明美 著  
文藝春秋

たどりついた大手企業の最終試験は何と「重役会議の襲撃」!? 失職して 4 年、最後のチャンスに懸ける 57 歳のアランは必勝の策を練るが...。ノンストップ再就職サスペンス。

2018:8./ 462p  
978-4-16-390892-2  
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/11/03



**日銀バブルが日本を蝕む(文春新書 1187)**

藤田 知也 著  
文藝春秋

採算が合わない木造集合住宅への投資熱、利用価値の乏しい仮想通貨の急騰劇...。これら新たな「バブル」現象を裏で煽動してきた日本銀行の金融緩和。超エリートたちの欺瞞に満ちた金融政策の内実を明らかにする。

2018:10./ 239p  
978-4-16-661187-4  
本体 ¥850+税



朝日新聞 2018/11/03



**朝が来る(文春文庫 つ18-4)**

辻村 深月 著  
文藝春秋

「子どもを、返してほしいんです」親子 3 人で穏やかに暮らす栗原家に、ある朝かかってきた一本の電話。電話口の女が口にした「片倉ひかり」は、確かに息子の産みの母の名だった…。

2018:9./ 358p  
978-4-16-799133-3  
本体 ¥700+税



朝日新聞 2018/11/03



**天皇家全系図**

井筒 清次、米田 雄介 著  
河出書房新社

天皇家の複雑な系図をわかりやすく歴史的にまとめる。神武天皇以来の天皇と兄弟姉妹、その皇子女、皇后など配偶者の人名の読み、在位年・生没年、肩書きなどを示し、重要な皇子女や家系は別系図を付す。詳細な索引付き。

2018:9./ 327p  
978-4-309-22747-4  
本体 ¥5,200+税



朝日新聞 2018/11/03



**凍てつく太陽**

葉真中 顕 著  
幻冬舎

昭和 20 年、終戦間際の北海道・室蘭。陸軍の軍事機密をめぐり、軍需工場の関係者が次々と毒殺される。アイヌ出身の特高刑事・日崎八尋は、先輩刑事とともに捜査に加わるが…。『小説幻冬』連載を加筆・修正し単行本化。

2018:8./ 534p  
978-4-344-03344-3  
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/11/03



**いま君に伝えたいお金の話**

村上 世彰 著  
幻冬舎

誰よりもお金に詳しいお金のプロが、お金で苦労しない人生を送るための考え方を公開。「お金って何だろう」というところから、これからの働き方、お金の付き合い方、とっておきのお金の使い方まで、わかりやすく綴る。

2018:9./ 190p  
978-4-344-03359-7  
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/11/03



**大人の恐竜図鑑(ちくま新書 1315)**

北村 雄一 著  
筑摩書房

ティラノサウルス、トリケラトプス、プテラドン…。人気恐竜の生態や進化、近年発掘された画期的な化石や地層、絶滅の真相など、恐竜の最新研究の成果をイラストとともに紹介する。

2018:3./ 264p  
978-4-480-07121-7  
本体 ¥860+税



朝日新聞 2018/11/03



**プラハ、二〇世紀の首都～あるシュルレアリスム的な歴史～**

デレク・セイヤー、阿部 賢一、河上 春香、宮崎 淳史 著  
白水社

「ヨーロッパの十字路」として、幾多の変容を経てきた都市プラハ。中欧の都に花開いた文学、美術、音楽、写真、演劇、建築、デザインなどを論じ、プラハを「20 世紀の首都」として位置づける。

2018:9./ 579p,143p  
978-4-560-09582-9  
本体 ¥13,500+税



朝日新聞 2018/11/03



### 風の演劇～評伝別役実～

内田 洋一 著  
白水社

「日本のベケット」と称賛され、新たな現代劇を構築した劇作家・別役実。その半生を、ロングインタビューを交え、膨大な取材から描く。戯曲総覧、略年譜も収録。

朝日新聞 2018/11/03

2018:8./ 357p  
978-4-560-09650-5  
本体 ¥4,200+税



### リバーエンド・カフェ<1>(Action Comics)

たなか 亜希夫 著  
双葉社

宮城県石巻。あの震災から数年が経ったこの地に住む高校 2 年生・入江サキはある夜、謎の男と出会う。不埒な輩に絡まれていたところを助けられたサキ。北上川の中瀬に灯る明かりに誘われ、少女は不思議なカフェへと辿りつく。

朝日新聞 2018/11/03

2018:9./ 192p  
978-4-575-85211-0  
本体 ¥620+税



### リバーエンド・カフェ<2>(Action Comics)

たなか 亜希夫 著  
双葉社

宮城県石巻。あの震災から数年が経ったこの地に住む高校 2 年生・入江サキはある夜、謎の男と出会う。不埒な輩に絡まれていたところを助けられたサキ。北上川の中瀬に灯る明かりに誘われ、少女は不思議なカフェへと辿りつく。

朝日新聞 2018/11/03

2018:9./ 192p  
978-4-575-85212-7  
本体 ¥620+税



### 横浜華僑社会の形成と発展～幕末開港期から関東大震災復興期まで～

伊藤 泉美 著  
山川出版社

中華街はなぜ横浜にあるのか? 開港、日清戦争、関東大震災…。幕末の 1859 年から 1920 年中頃までを対象に、中国人が横浜に進出し、中華街を形成・発展させるまでの、横浜華僑社会の歴史的過程を明らかにする。

朝日新聞 2018/11/03

2018:8./ 9p,491p,14p  
978-4-634-52024-0  
本体 ¥8,000+税



### 医者の本音～患者の前で何を考えているか～(SB 新書 444)

中山 祐次郎 著  
SBクリエイティブ

なぜ医者への態度はいつも冷たいのか。患者の「薬を減らしたい」をどう思うか。「様子を見ましょう」の裏で何を考えているのか。年収はいくらもらっているのか。現役の若い医師が頭の中をさらけだし、答えにくい質問に答える。

朝日新聞 2018/11/03

2018:8./ 254p  
978-4-7973-9687-4  
本体 ¥820+税



### 日本哲学史

藤田 正勝 著  
昭和堂

西洋の哲学に触れて以降、日本では、哲学はどのように受けとめられ、受け入れられていったのか。そこからどのように独自の思索が展開したのか。日本近現代の思索の脈流を叙述し、日本哲学の全体像を明らかにする。

朝日新聞 2018/11/03

2018:10./  
12p,498p,16p  
978-4-8122-1736-8  
本体 ¥3,800+税





### はじめての絵画の歴史～「見る」「描く」「撮る」のひみつ～

デイヴィッド・ホックニー、マーティン・ゲイフォード、ローズ・ブレイク、井上 舞 著  
青幻舎

洞窟の壁に描かれた大昔の絵から、コンピューターやスマートフォンのカメラを使って制作した画像まで、さまざまな「絵」の歴史を楽しく理解できる一冊。作品を生み出した芸術家たちも紹介する。

2018:8./ 128p  
978-4-86152-684-8

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/11/03



### 食育のウソとホント～捏造される「和食の伝統」～

魚柄 仁之助 著  
こぶし書房

旬だからおいしい? 日本型食生活だから健康? 食卓の団らんが日本の伝統? 教育現場にしのびこむ怪しい「和食」賛美を、膨大な文献資料をもとに検証する。痛切な近代日本食文化史。

2018:9./ 234p

978-4-87559-344-7

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/11/03



### ぼくは恐竜探検家!

小林 快次 著  
講談社

ディノケイルスやむかわ竜は、どのように発見されたのか? 恐竜学とは、どんな研究をするのか? 恐竜学者になるには、何が必要なのか? 気鋭の恐竜学者・小林快次がすべての恐竜ファンに贈る恐竜学バイブル。

2018:7./ 191p

978-4-06-512425-3

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/11/03、読売新聞 2018/11/04



### 大人のための恐竜教室

真鍋 真、山田 五郎 著  
ウェッジ

どうして、恐竜に関する学説はこんなにも変わるのか? そもそも、恐竜ってどんな生き物? 鳥と恐竜の境目は? まだまだわからないこともたくさんある恐竜について、恐竜学者と恐竜好きの評論家が語り尽くす。

2018:8./ 221p

978-4-86310-205-7

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/11/03、読売新聞 2018/11/04



### 滑走路～歌集～

萩原 慎一郎 著  
KADOKAWA

非正規の友よ、負けるな ぼくはただ書類の整理ばかりしている 僕は歌う。誰からも否定できない生き様を提示するために。32歳、若き歌人が遺した至極の295首を収めた第1歌集。

2017:12./ 156p

978-4-04-876477-3

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/11/03、日本経済新聞 2018/11/03



### 芸術文化の投資効果～メセナと創造経済～(文化とまちづくり叢書)

加藤 種男 著  
水曜社

芸術文化振興への支援を意味する「メセナ」。長年、企業によるメセナ活動の現場に従事してきた著者が、芸術文化がいかに創造経済の発展のために重要な役割を果たしてきたかを数々の事例を通してまとめる。

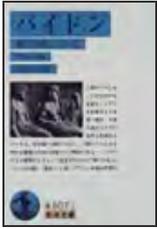
2018:10./ 386p,12p

978-4-88065-450-8

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2018/11/03、日本経済新聞 2018/11/10



**パイドン～魂の不死について～(岩波文庫 青 602-2)**

プラトン 著  
岩波書店

ソクラテスの最期のときという設定で行われた「魂の不死」についての対話。『国家』へと続くプラトン中期の代表作。

1998:2./ 222p  
978-4-00-336022-4  
本体 ¥720+税



朝日新聞 2018/11/10



**ムンク展-共鳴する魂の叫び公式ガイドブック～展覧会を 10 倍楽しむ方法を教えます!～(AERA MOOK)**

朝日新聞出版 編  
朝日新聞出版

2018 年 10 月?2019 年 1 月に東京都美術館で開催される「ムンク展」の公式ガイドブック。ムンク 80 年の生涯と作品を徹底解説する。ムンクの故郷ノルウェーのオスロ、ムンク美術館も紹介。切り取って使う割引券つき。

2018:11./ 95p  
978-4-02-279204-4  
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/11/10



**ほしとんで<01>(ジーン LINE コミックスシリーズ)**

本田、堀本 裕樹 著  
KADOKAWA

個性際立つ人が多い芸術学部—その中でも尾崎流星が入ったのは、強烈な生徒ばかりの「俳句ゼミ」で!?切れ字って?季語って?淡々とした性格の流星と濃ゆ〜い俳句ゼミメンバー俳句は果たして上達するのか。

2018:10./ 164p  
978-4-04-065215-3  
本体 ¥600+税



朝日新聞 2018/11/10



**書を捨てよ、町へ出よう 改版(角川文庫)**

寺山 修司 著  
角川書店

平均化された生活なんてくそ食らえ。本も捨て、町に飛び出そう。家出の方法、サッカー、ハイティーン詩集、競馬、ヤクザになる方法...、天才アジテーター・寺山修司の 100%クールな挑発の書。

2004:6./ 332p  
978-4-04-131522-4  
本体 ¥514+税



朝日新聞 2018/11/10



**すぐ死ぬんだから**

内館 牧子 著  
講談社

美しさや若さを保つ努力を怠らない 78 歳の忍ハナ。息子の嫁が自分に手をかけず貧乏くさい、ということだけが不満の幸せな老後を送っていたが、夫が倒れたことから思いがけない裏を知り...。『小説現代』連載を加筆し単行本化。

2018:8./ 323p  
978-4-06-512585-4  
本体 ¥1,550+税



朝日新聞 2018/11/10



**旅する天皇～平成 30 年間の旅の記録と秘話～**

竹内 正浩 著  
小学館

天皇・皇后両陛下下の印象は、様々ないでたちで人々と触れ合う旅先の姿で形作られている。地球 15 周半に及ぶ両陛下の旅の全貌を地図や図表にして分析し、旅先での具体的なエピソードを紹介する。

2018:10./ 269p  
978-4-09-388630-7  
本体 ¥1,850+税



朝日新聞 2018/11/10



**凶暴老人～認知科学が解明する「老い」の正体～(小学館新書 316)**

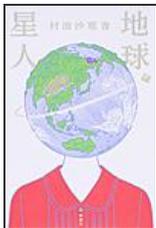
川合 伸幸 著  
小学館

高齢者の暴行・傷害事件は平成 8 年の 20 倍に激増している。この状況は何に起因しているのか? 認知症との関係は? 改善方法はあるのか? 認知科学の第一人者が豊富な実証実験を元に「老い」の正体を解き明かす。

2018:10./ 222p  
978-4-09-825316-6  
本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/11/10



**地球星人**

村田 沙耶香 著  
新潮社

地球星人なんて、ポハピピンポボピア星人が作り上げた幻想なんじゃないかな。なにがあってもいきのびること。恋人と誓った魔法少女は、世界=人間工場と対峙する! 『新潮』掲載を単行本化。

2018:8./ 246p  
978-4-10-310073-7  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/11/10



**ケの美～あたりまえの日常に、宿るもの～**

佐藤 卓 著  
新潮社

14 人の人気クリエイターが、日々の暮らしの中に現れる美しさ「ケの美」を表現した、2017 年 11?12 月に「ポーラミュージアム アネックス」で開催された展覧会内容をまとめたもの。佐藤卓と橋本麻里の対談も収録する。

2018:10./ 143p  
978-4-10-351072-7  
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/11/10



**人生の十か条(中公新書ラクレ 634)**

辻 仁成 著  
中央公論新社

不運、トラブル、人間関係...どんな壁も乗り越えられる! 作家でミュージシャンで、一人の父でもある辻仁成が、苦難に出会った時に考案し、乗り越える術としてきた「人生の十か条」を紹介。著者のツイッター等をもとに新書化。

2018:10./ 213p  
978-4-12-150634-4  
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/11/10



**絶望読書(河出文庫 か 34-1)**

頭木 弘樹 著  
河出書房新社

太宰治といっしょに「待つ」、山田太一といっしょに「生きるかなしみ」と向き合う...。絶望したときに、寄り添ってくれる本や映画、ドラマなどを紹介する。絶望の「とき」の過ごし方も伝える。

2018:11./ 270p  
978-4-309-41647-2  
本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/11/10



**寺山修司と生きて**

田中 未知 著  
新書館

寺山修司は、何をしようとし、何をなしとげ、そして、何をされたのか? 寺山修司の文学・演劇・映画を全力で支えた、彼の秘書兼マネージャーである著者が、24 年の沈黙を破って語り始める寺山修司の核心!

2007:5./ 378p  
978-4-403-21094-5  
本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2018/11/10



### 鉄道快適化物語～苦痛から快樂へ～

小島 英俊 著  
創元社

「快適化」をテーマに、日本の鉄道の進化の道筋を辿る本。安全性やスピードの向上はもとより、乗り心地の改善、座席・照明・トイレといった車内設備の進化、果ては憧れの豪華列車まで、快適性向上のためのあらゆる工夫を紹介。

2018:9./ 270p  
978-4-422-24079-4

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/11/10



### 文字と組織の世界史～新しい「比較文明史」のスケッチ～

鈴木 董 著  
山川出版社

諸文明を「文字世界」として可視化し、歴史上の巨大帝国を「支配組織」の比較優位で捉え直す「比較文明史」。5大文字圏としての5大文化圏の誕生、東西冷戦体制とその終焉、「巨龍」中国と「巨象」インドの台頭までを収録。

2018:8./ 387p  
978-4-634-15058-4

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/11/10



### 妖怪絵草紙(湯本豪一コレクション)

湯本 豪一、シャーニ・ウィルソン 著  
パイインターナショナル

江戸時代から明治時代にかけて人気を博した妖怪マンガや妖怪物語、妖怪豆本を現代語訳とともに収録。江戸市中や近郊で遊興している人面キャラクターたちの姿を描いた奇書「人面草紙」も原寸大で全ページ掲載。

2018:9./ 224p  
978-4-7562-5082-7

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2018/11/10



### 深呼吸の必要(ハルキ文庫 お9-3)

長田 弘 著  
角川春樹事務所

きみはいつおとなになったんだろう。きみはいまはおとなで、子どもじゃない。子どもじゃないけれども、きみだって、もとは一人の子どもだったのだ。(「あのときかもしれない」より) 散文詩二章三十三篇からなる詩集。

2018:10./ 148p  
978-4-7584-4204-6

本体 ¥620+税



朝日新聞 2018/11/10



### 図解平成オタク30年史

平成オタク研究会 編  
新紀元社

アニメ、ゲーム、マンガ、ラノベ、ネット、SNS、アイドル、コミケ…。オタク・サブカル関連の平成30年間の変遷を図解で読み解く! 学者芸人・サンキュータツオと漫画大賞発起人・吉田尚記の対談も掲載。

2018:9./ 127p  
978-4-7753-1635-1

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/11/10



### 障害者と笑い～障害をめぐるコミュニケーションを拓く～

塙 幸枝 著  
新曜社

障害者と笑いはもっとも結びつきにくいテーマである。「笑い」という社会的営為を手がかりに、障害者によるバラエティ番組「バリバラ」を取り上げ、「差別から自由」なコミュニケーションの可能性をさぐる。

2018:8./ 254p  
978-4-7885-1590-1

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/11/10



**スマホを落としただけなのに(宝島社文庫 C し-7-1)**

志駕 晃 著  
宝島社

麻美の彼氏の富田が落としたスマホを拾った男は、ハッカーだった。画像フォルダを見た男は麻美を気に入り、SNS を駆使した狡猾な男で麻美に迫る。一方、神奈川の山中では身元不明の女性の死体が次々と発見され...

朝日新聞 2018/11/10

2017:4./ 403p  
978-4-8002-7066-5  
本体 ¥650+税



**すいません、ほぼ日の経営。**

糸井 重里、川島 蓉子 著  
日経BP社

なぜ「株式会社ほぼ日」では、魅力的なコンテンツ、サービス、商品が、次々に誕生しているのか。ジャーナリストの川島蓉子が、糸井重里に「ほぼ日の経営」についてインタビューする。「ほぼ日手帳」対応しおり付き。

朝日新聞 2018/11/10

2018:10./ 287p  
978-4-8222-5786-6  
本体 ¥1,500+税



**あそこ、天皇は神だった**

ジュリー・オオツカ、小竹 由美子 著  
フィルムアート社

家族それぞれの視点から語られる、有刺鉄線の内側で過ごす日々。第二次世界大戦中のアメリカで、強制退去によって追われた日系人の一家が、ユタ州の砂漠にある収容所に抑留されてから帰ってくるまでを描く。

朝日新聞 2018/11/10

2018:9./ 189p  
978-4-8459-1706-8  
本体 ¥2,300+税



**映画はいかにして死ぬか〜横断的映画史の試み〜**

蓮實 重彦 著  
フィルムアート社

映画はいかにして死ぬか。横断的映画史の試み。映画の健忘症の克服。三人の作家...。明晰かつ挑発的。大胆かつ繊細。映画史を奔放に横断し咀嚼する、蓮實流映画講義集。

朝日新聞 2018/11/10

2018:10./ 296p  
978-4-8459-1810-2  
本体 ¥2,200+税



**シネマの記憶装置**

蓮實 重彦 著  
フィルムアート社

フィルム断片、その引用と反復の記憶。映画の現在、その緩慢と弛緩の記憶。ゴダールの記憶の現在...。「映画に対する言葉の敗北のささやかな記念碑」として編まれた、最も幸福な映画論集。

朝日新聞 2018/11/10

2018:10./ 307p  
978-4-8459-1811-9  
本体 ¥2,200+税



**ドラガイ〜ドラフト外入団選手たち〜**

田崎 健太 著  
カンゼン

ドラフト外で入団した選手たちはどう主力選手へ成長したのか。丹念な取材から、ドラフト入団組以上の過酷さ、厳しさを映し出し、“ドラ外戦士”の矜持に迫る。ウェブサイト『ベースボールチャンネル』連載を単行本化。

朝日新聞 2018/11/10

2018:10./ 271p  
978-4-86255-482-6  
本体 ¥1,700+税





### フクシマノート

小林 恵 著  
冬青社

2011年5月?2018年7月に、福島県のいわき市、楡葉町、南相馬市などの立ち入り可能区域を撮影したモノクローム写真集。「先祖から託され、子孫に託す暮らし」という普通の約束事が断たれた「沈黙の光景」の記録。

朝日新聞 2018/11/10

2018:10./ 93p  
978-4-88773-189-9  
本体 ¥4,500+税



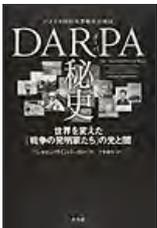
### みんな彗星を見ていた～私的キリシタン探訪記～(文春文庫 ほ11-6)

星野 博美 著  
文藝春秋

東と西が会ったとき、何が起きたのか? 多くの謎が潜む、キリシタンの世紀。長崎からバレンシア、バスクまで、時代を生き抜いた宣教師や信徒の足跡を辿り、新たな視点で伝える。

朝日新聞 2018/11/10、読売新聞 2018/11/18

2018:10./ 540p  
978-4-16-791163-8  
本体 ¥1,080+税



### DARPA 秘史～世界を変えた「戦争の発明家たち」の光と闇～

シャロン・ワインバーガー、千葉 敏生 著  
光文社

GPS、インターネット、地震観測ネットワーク…。戦争の形に応じて“革命的技術”を生み出してきたアメリカの軍事機関「DARPA(国防高等研究計画局)」。その数奇な歴史と実態に迫るノンフィクション。

朝日新聞 2018/11/10、日本経済新聞 2018/11/17

2018:9./ 587p  
978-4-334-96223-4  
本体 ¥3,200+税



### 平成論～「生きづらさ」の30年を考える～(NHK出版新書 561)

池上 彰、上田 紀行、中島 岳志、弓山 達也 著  
NHK出版

私たちはどんな時代に生き、これからどんな時代を生きていくのか。池上彰をはじめとする東京工業大学の名物教授 4人が、「社会と宗教との関わり」をキーワードに、激動の平成時代を総括する。

朝日新聞 2018/11/10、日本経済新聞 2018/11/24

2018:9./ 203p  
978-4-14-088561-1  
本体 ¥780+税



### 薬物依存症(ちくま新書 1333-4)

松本 俊彦 著  
筑摩書房

薬物問題は自己責任論では解決にならない。痛みを抱え孤立した「人」に向き合い、つながる機会を提供する治療・支援こそが必要なのだ。医療、そして社会はどのようにあるべきか。薬物依存症を通して探求し、提示する。

朝日新聞 2018/11/10、毎日新聞 2018/11/18

2018:9./ 350p  
978-4-480-07172-9  
本体 ¥980+税



### 東京輪舞( Rond )

月村 了衛 著  
小学館

田中角栄邸の警備をしていた警察官・砂田修作は、公安へと異動し、「ロッキード」「地下鉄サリン」など、数々の事件と関わっていく。昭和・平成の裏面史を「貫通」する公安警察小説。『週刊ポスト』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2018/11/11

2018:10./ 521p  
978-4-09-380106-5  
本体 ¥1,800+税





### 新・二都物語

芦辺 拓 著

文藝春秋

東北の寒村生まれの謙吉と、銀行頭取の息子・祥太郎。境遇が正反対の 1903 年生まれのふたりが偶然出会ったのは…。日本列島と中国大陸を股にかけて展開する波乱万丈の大河ロマン。『しんぶん赤旗』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2018/11/11

2018:10./ 453p

978-4-16-390914-1

本体 ¥2,000+税



### iPhuck 10

ヴィクトル・ペレーヴィン、東海 晃久 著

河出書房新社

21 世紀後半、肉体を介した性交渉が禁止され、iPhuck と呼ばれるガジェットが重宝されていた。ロシアの警察に所属するアルゴリズムであるペトローヴィチは、21 世紀前半の芸術様式「ギブス」の調査を命じられ…。

朝日新聞 2018/11/11

2018:8./ 473p

978-4-309-20747-6

本体 ¥4,300+税



### ヨーゼフ・メンゲレの逃亡(海外文学セレクション)

オリヴィエ・ゲーズ、高橋 啓 著

東京創元社

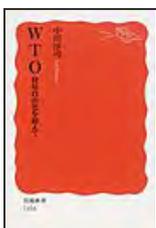
アウシュヴィッツ解放後、様々な偽名のもと南米に潜んでいたナチスの医師“死の天使・メンゲレ”は、なぜ生き延びられたのか。謎に満ちた後半生の真実と人間の本质をジャーナリスティックな手法で描いた小説。

朝日新聞 2018/11/11

2018:10./ 249p,5p

978-4-488-01666-1

本体 ¥1,800+税



### WTO～貿易自由化を超えて～(岩波新書 新赤版 1416)

中川 淳司 著

岩波書店

日々の暮らしを支える貿易のルールを決める機関として、WTO はどんな働きをしてきたか。TPP や FTA とはどう違うのか。前身のガット時代から現在までの歴史を見通し、課題と展望をわかりやすく解説する。

朝日新聞 2018/11/17

2013:3./ 18p,217p,10p

978-4-00-431416-5

本体 ¥760+税



### ルポ トランプ王国～もう一つのアメリカに行く～(岩波新書 新赤版 1644)

金成 隆一 著

岩波書店

アパラチア山脈を越えると状況が一変した。トランプを支持する人々がいた。山あいのバー、ダイナー、床屋、時には自宅に上がり込んで聴いた、将来を案ずる勤勉な人たちの声を通して、もう一つのアメリカを紹介する。

朝日新聞 2018/11/17

2017:2./ 11p,265p

978-4-00-431644-2

本体 ¥860+税



### 大化改新を考える(岩波新書 新赤版 1743)

吉村 武彦 著

岩波書店

645 年の蘇我入鹿暗殺を契機として始まった「大化改新」は、社会、民衆をどう変えたのか? 「日本書紀」などの文献の徹底した解説と考古資料の検討を通じて、大改革の実態に迫る。

朝日新聞 2018/11/17

2018:10./ 2p,240p,4p

978-4-00-431743-2

本体 ¥840+税





**砂の街路図(小学館文庫 さ2-3)**

佐々木 譲 著  
小学館

なぜ父は幼い息子と母を捨てて失踪し、この街で死んだのか。死の真相を知るため、母の四十九日を終えた岩崎俊也は北海道の運河町へと旅立つ。父が隠し続けた、ぬぐいきれない恥辱と罪悪感。?よりも哀しい、沈黙の真相とは?

朝日新聞 2018/11/17

2018:11./ 317p  
978-4-09-406576-3

本体 ¥630+税



**贗作桜の森の満開の下**

野田 秀樹、野田 秀樹 著  
新潮社

往年の名作「贗作桜の森の満開の下」2018 年版と、亡き十八代目中村勘三郎に捧げ、舞台芸術への愛に満ちた「足跡姫」。新旧の古典的マスターピースからなる戯曲集。野田地図の第 21 回・第 22 回公演の台本。

朝日新聞 2018/11/17

2018:9./ 264p

978-4-10-340518-4

本体 ¥1,800+税



**受験と進学の新常識～いま変わりつつある 12 の現実～(新潮新書 784)**

おおた としまさ 著  
新潮社

激変を続ける受験の世界。いま勢いのある学校や塾は? 受験に勝つ子の「3 条件」とは...? 教育ジャーナリストである著者が、受験と進学の新常識を明かす。子供の受験が脳裏をかすめたら、真っ先に読むべき入門書。

朝日新聞 2018/11/17

2018:10./ 222p

978-4-10-610784-9

本体 ¥760+税



**少女架刑(中公文庫 よ13-13)**

吉村 昭 著  
中央公論新社

徹底した取材と綿密な調査に基づく重厚な歴史小説で知られる作家・吉村昭。その文学的出発点を示す自選短篇集。三島由紀夫が激賞した「死体」など、1952 年から 60 年までの全 7 篇を収録する。エッセイ「遠い道程」も掲載。

朝日新聞 2018/11/17

2018:10./ 323p

978-4-12-206654-0

本体 ¥840+税



**われらはレギオン<1> AI 探査機集合体(ハヤカワ文庫 SF 2178)**

デニス・E.テイラー、金子 浩 著  
早川書房

恒星間探査機の AI として死からよみがえった天才プログラマー・ボブ。ほぼ無尽蔵の寿命と工業生産力を手に入れた彼は、人類の新たな居住地を求めて、はるか未踏の星域へと旅立つ! 傑作宇宙冒険 SF、3 部作開幕篇。

朝日新聞 2018/11/17

2018:4./ 447p

978-4-15-012178-5

本体 ¥1,000+税



**われらはレギオン<2> アザーズとの遭遇(ハヤカワ文庫 SF 2189)**

デニス・E.テイラー、金子 浩 著  
早川書房

絶滅の危機にある人類を救うため、入植可能な惑星を求めて大宇宙を探索するボブたち。彼らは原生生物を虐殺し、鉱物資源を採掘しつくす恐るべき敵、他者(アザーズ)と遭遇する! 宇宙冒険 SF3 部作の第 2 弾。

朝日新聞 2018/11/17

2018:7./ 445p

978-4-15-012189-1

本体 ¥1,000+税





**われらはレギオン<3> 太陽系最終大戦(ハヤカワ文庫 SF 2202)**

デニス・E.テイラー、金子 浩 著

早川書房

アザーズ侵攻からパヴ人の星系を守るための戦いは敗北に終わった。強大なアザーズ艦隊がついに太陽系を襲う。地球に残された人類を守るために、500 体のボブが集結し、怖るべき敵を迎え撃つが…。宇宙冒険 SF3 部作、完結。

2018:10./ 399p

978-4-15-012202-7

本体 ¥1,020+税



朝日新聞 2018/11/17



**怒りの葡萄<上> 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 80)**

ジョン・スタインベック 著

早川書房

1930 年代、アメリカ中西部の広大な農地は厳しい日照りと砂嵐に見舞われ、多くの農民たちが貧しい流浪の民となる。オクラホマの小作農ジョード一家も、新天地カリフォルニアをめざす。ノーベル賞作家の代表作の完全新訳。

2014:12./ 447p

978-4-15-120080-9

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/11/17



**怒りの葡萄<下> 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 81)**

ジョン・スタインベック 著

早川書房

苦難と困窮の旅のすえ、カリフォルニアにたどり着いたジョード一家。そこで迎えたのは、美しく豊かな果樹園や綿畑と、敵意にさらされながら低賃金のわずかな仕事を奪い合う過酷な日々だった。資本主義の矛盾を描く不朽の名作。

2014:12./ 431p

978-4-15-120081-6

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/11/17



**竜河岸(文春文庫 う 11-23)**

宇江佐 真理 著

文藝春秋

自らの手下を持つよう父に言われた龍之進。頭に浮かんだのはかつて自分が捕えられなかった男だった。廻り髪結いの伊三次とお文夫婦の周りで起こる心揺さぶられる事件の数々を描いた、人情小説シリーズ最終巻。

2018:10./ 455p

978-4-16-791152-2

本体 ¥790+税



朝日新聞 2018/11/17



**考えるとはいか〜0歳から100歳までの哲学入門〜(幻冬舎新書 か 23-1)**

梶谷 真司 著

幻冬舎

対話を通して哲学的思考を体験する試みとしていま注目の「哲学対話」。その実践から分かった、考えることそのものとしての哲学とは? 生きている限り、いつでも誰にでも必要なまったく新しい哲学の入門書。

2018:9./ 262p

978-4-344-98514-8

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/11/17



**沖縄報道〜日本のジャーナリズムの現在〜(ちくま新書 1362)**

山田 健太 著

筑摩書房

近年、沖縄と本土の意識差は「溝」「対立」から「分断(断絶)」へと深刻化している。沖縄現代史と今日の沖縄が抱える問題を踏まえた上で、このような状況を招いたメディアの実情と、それを生み出す構造を解き明かす。

2018:10./ 297p,4p

978-4-480-07177-4

本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/11/17



### AI×人口減少～これから日本で何が起るのか～

中原 圭介 著  
東洋経済新報社

「AI による自動化」と「少子化による人口減少」という 2 つの大きな波で、日本の経済や社会の仕組み、私たちの仕事や生活はどう変わるのか? 「もっとも予測が当たる経済アナリスト」中原圭介による未来予測。

2018:10./ 254p  
978-4-492-39643-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/11/17



### 世界経済大いなる収斂～IT がもたらす新次元のグローバル化～

リチャード・ボールドウィン、遠藤 真美 著  
日本経済新聞出版社

情報通信技術の進歩がもたらした知識の分布の歴史的な変化。モノ、アイデア、ヒトの移動コスト「距離」に着眼し、世界経済をめぐる通念を打ち破り、知識のフローが主導する経済の変容と、その影響をダイナミックに解き明かす。

2018:2./ 397p

978-4-532-35763-4

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2018/11/17



### あたらしい家族ができました。<1>

与田基俊 著  
一迅社

父親を亡くし、叔父の家に引き取られることになった主人公の碧。新生活を始める碧の前に現れたのは叔父の春軌。しかしその姿はまさかの女装!?そして職業がバーのママさん!?驚きの連続で幕を明けたあたらしい生活の行方は...

2018:10.

978-4-7580-2016-9

本体 ¥815+税



朝日新聞 2018/11/17



### トラウマ研究<1> トラウマを生きる

松嶋 健 編  
京都大学学術出版会

トラウマ経験や現代社会における社会的苦悩を扱い、その実態を社会・文化的文脈で理解することを目指すとともに、解決についても実践的な視点から論じる。1 は、トラウマの原因とみなされてきた性や家族に関わる論考等を集成。

2018:11./ 5p,646p

978-4-8140-0146-0

本体 ¥7,800+税



朝日新聞 2018/11/17



### ロイ・フラー～元祖モダン・ダンサーの波乱の生涯～

山本 順二 著  
風媒社

「光の魔術師」として革新的なパフォーマンスや舞台芸術をつくったダンサー、ロイ・フラー。アメリカの大平原で生まれた彼女が、舞台芸術の階段を一步ずつはいあがり、世界に羽ばたくまでを、時間の流れに沿って描く。

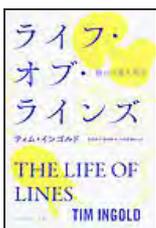
2018:10./ 246p

978-4-8331-3178-0

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/11/17



### ライフ・オブ・ラインズ～線の生態人類学～

ティム・インゴルド、笈 菜奈子、島村 幸忠、宇佐美 達朗 著  
フィルムアート社

結ぶこと、天候、歩くこと、成長すること、人間になること...。自由な発想で世界にさまざまなラインを見いだす。人類学者ティム・インゴルドのライフワーク「ライン学」の到達点。「ラインズ」続編。

2018:9./ 317p,24p

978-4-8459-1626-9

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/11/17



### 雪のことば辞典

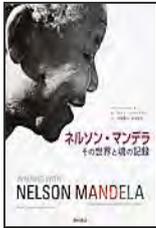
稲 雄次 著  
柘風舎

雪にまつわることば・方言・言い回し・ことわざ・俗信など、自然科学的な「雪」から、文学・民俗学的な「雪」までを集めた“雪を身近に感じる”読む辞典。「かまくらの諸説」「雪の妖怪」といったコラムも収録。

朝日新聞 2018/11/17

2018:10./ 459p,17p  
978-4-86498-060-9

本体 ¥8,500+税



### ネルソン・マンデラ〜その世界と魂の記録〜

ロジャー・フリードマン、ベニー・グール、金原 瑞人、松浦 直美 著  
西村書店

27年間の獄中生活後、南アフリカ共和国大統領となり、人種隔離政策撤回のために闘った伝説の指導者ネルソン・マンデラ。20世紀の良心を代表する彼の生涯を、貴重な初公開写真とともに振り返る。

朝日新聞 2018/11/17

2018:10./ 304p

978-4-89013-793-0

本体 ¥4,600+税



### 箸袋でジャパニーズ・チップ!〜テーブルのうえで見つけたいろんな形〜

辰巳 雄基 著  
リトル・モア

空のなかまや海のなかま、犬、亀といった動物から、舟、飛行機、リボン、扇、花まで。2016年4月?2017年8月に、全国47都道府県を軽自動車ですり、集めた「誰かが折った箸袋」を写真で紹介する。

朝日新聞 2018/11/17

2018:8./ 111p

978-4-89815-480-9

本体 ¥1,600+税



### 凍った脳みそ

後藤 正文 著  
ミシマ社

ホームセンターに何度も走ったり、便器について調べたり、カニかまぼこについて真剣に考えたり。人気ロックバンドのフロントマンが、自作スタジオで日夜起こる出来事を綴る。『みんなのミシマガジン』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2018/11/17

2018:11./ 196p

978-4-909394-14-9

本体 ¥1,500+税



### 踏み絵とガリバー〜鎖国日本をめぐるオランダとイギリス〜

松尾 龍之介 著  
弦書房

スウィフトはなぜ「ガリバー旅行記」に踏み絵の話を書いたのか。第3篇の踏み絵とオランダ人をめぐる物語を中心に、18世紀のオランダ・イギリス・ポルトガル・スペイン各国間の外交戦略と日本の交易の実態を読み解く。

朝日新聞 2018/11/17、東京・中日新聞 2018/11/25

2018:10./ 212p

978-4-86329-181-2

本体 ¥1,900+税



### フューチャー・ウォー〜米軍は戦争に勝てるのか?〜

ロバート・H.ラティフ、平賀 秀明 著  
新潮社

兵器開発の最前線に立った元米軍将校が「遠くない未来」に向けて放つ警告の書。未来における戦争を考察し、テクノロジーと戦争の関係、およびテクノロジーが兵士と彼らが忠誠を誓う国家にいかなる影響を及ぼすかを描く。

朝日新聞 2018/11/17、日本経済新聞 2018/11/17

2018:9./ 249p

978-4-10-507051-9

本体 ¥2,000+税





### 中央銀行～セントラルバンカーの経験した 39 年～

白川 方明 著  
東洋経済新報社

第 30 代日本銀行総裁を務めた白川方明が、日本銀行に入学した 1972 年から現在までの日本経済や日本銀行の政策の歴史を個人的体験を踏まえて論じるほか、中央銀行のあり方や望ましい通貨管理制度について考察する。

2018:10./ 13p,758p,9p  
978-4-492-65485-9

本体 ¥4,500+税



朝日新聞 2018/11/17、日本経済新聞 2018/11/24



### 男たちよ、ウエストが気になり始めたら、進化論に訊け!～男の健康と老化は、女とどう違うのか～

リチャード・ブリビエスカス、寺町 朋子 著  
合同出版

男の免疫力はなぜ女より弱いのか? 年とともに男のウエストが太めになる進化的メカニズムとは? 男と女の健康・老化の違いから、ヒトの進化の核心を解き明かす。男の、そして人類の健康・エイジングに関する新たな洞察が満載。

2018:10./ 269p  
978-4-7726-9561-9

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/11/17、日本経済新聞 2018/11/24



### せん

スージー・リー 著  
岩波書店

しろい紙のうえを走るえんぴつ。その先から一本のせんが生まれ、スケートぐつをはいた少女が氷のうえへと軽やかにすべりだす…。絵本作家スージー・リーの文字のない絵本。

2018:10./ 38p  
978-4-00-112671-6

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/11/24



### 今夜はひとりぼっちかい?～日本文学盛衰史 戦後文学篇～

高橋 源一郎 著  
講談社

「戦後文学」をテーマに、誰にも読まれなくなった難物を、ロックやパンク、ラップにのせ、ブログや twitter まで使って揉みほぐす。そんなある日、タカハシさんは「震災」に遭い…。『群像』掲載をもとに単行本化。

2018:8./ 365p  
978-4-06-218011-5

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/11/24



### 悪童(ワルガキ)～小説寅次郎の告白～

山田 洋次 著  
講談社

映画「男はつらいよ」の寅さんが、「2・26 事件」の朝に帝釈天に捨てられたという衝撃の誕生秘話から、柴又を飛び出すまでの十数年を軽快に語る。『男はつらいよ 寅さん DVD マガジン』連載を改題、改稿し単行本化。

2018:9./ 183p  
978-4-06-220729-4

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/11/24



### サトコとナダ<1>(星海社 COMICS)

ユペチカ 著  
星海社

ルームメイトはサウジアラビアの女の子!?初めてのアメリカ、イスラム文化、ルームシェアは驚きでいっぱい。ひとつ屋根の下で繰り上げられる魅惑の異文化交流ライフ 4 コマ!

2017:7./ 127p  
978-4-06-369572-4

本体 ¥640+税



朝日新聞 2018/11/24

**サトコとナダ<2>(星海社 COMICS)**ユペチカ 著  
星海社

ルームメイトはサウジアラビアの女の子!初めてのアメリカ、イスラム文化、ひとつ屋根の下で繰り広げられる魅惑の異文化交流ライフ。イスラム美女子ナダがお見合い結婚!困惑するナダを励ますためサトコがとった行動とは...?

2017:12./ 127p  
978-4-06-510770-6

本体 ¥640+税



朝日新聞 2018/11/24

**サトコとナダ<3>(星海社 COMICS)**ユペチカ 著  
星海社

ナダの婚約者がサウジアラビアからやって来る...!?急展開の第3巻。

2018:4./ 127p

978-4-06-511432-2

本体 ¥640+税



朝日新聞 2018/11/24

**青少年のための小説入門**久保寺 健彦 著  
集英社

いじめられっ子の中学生・一真は、ヤンキーの登に「小説の朗読をしてくれ」と頼まれる。ディスレクシアで読み書きができない登だが、名作小説をともに読むうちに、ふたりは本の面白さに熱狂しはじめ...

2018:8./ 419p

978-4-08-775442-1

本体 ¥1,650+税



朝日新聞 2018/11/24

**友情だねって感動してよ**小嶋 陽太郎 著  
新潮社

優等生で日和見主義の「僕」とガールフレンドの吉川、そして人形の&lt;はるちゃん&gt;と会話するクラスメイト・湯浅の奇妙で切ない友情関係を描いた表題作をはじめ、全6篇を収録。『小説新潮』掲載を単行本化。

2018:9./ 251p

978-4-10-352061-0

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/11/24

**風景論～変貌する地球と日本の記憶～**港 千尋 著  
中央公論新社

なぜ私たちは見知らぬ土地を歩き、風景を訪ねるのか? 慣れ親しんだ風景が一瞬にして激変した東日本大震災を出発点に、世界のさまざまな土地をめぐりながら「経験としての風景」を考察する。『読売新聞』連載等を単行本化。

2018:9./ 349p

978-4-12-005109-8

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2018/11/24

**トランスヒューマンガンマ線パースト童話集**三方 行成 著  
早川書房

あるところに、トランスヒューマンのお姫様がいました。ある日、空からガンマ線パーストが降ってきて...。「シンデレラ」や「竹取物語」などを、現代の諧謔と遠未来のハイテク用語で語り直した SF 童話集。全6篇を収録。

2018:11./ 275p

978-4-15-209817-7

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/11/24



### 長くつ下のピッピの本～決定版～

アストリッド・リンドグレン、イングリッド・ヴァン・ニイマン、石井 登志子 著  
徳間書店

世界一強い女の子ピッピがやってきた! リンドグレン自身が3冊の物語を1冊にまとめた「長くつ下のピッピ」の決定版。スウェーデン版オリジナルのイラストもオールカラーで収録する。

朝日新聞 2018/11/24

2018:11./ 380p  
978-4-19-864731-5

本体 ¥3,200+税



### 珈琲が呼ぶ

片岡 義男 著  
光文社

作家・片岡義男が文芸的観点からコーヒーを捉えたエッセイ集。コーヒー好きはもちろん、映画・音楽・サブカル愛好者にはたまらない、全45篇の書き下ろしを収録。

朝日新聞 2018/11/24

2018:1./ 347p

978-4-334-97976-8

本体 ¥1,800+税



### 近代日本の思想をさぐる～研究のための15の視角～

中野目 徹 編  
吉川弘文館

時の経過とともにある人々の意識や心理は、何によって形作られるのか。近代日本を思想史として研究する方法を、空間・媒体・手法の3つの視座から模索する。

朝日新聞 2018/11/24

2018:11./ 5p,316p,8p

978-4-642-00832-7

本体 ¥2,400+税



### ペトロ岐部カスイ

五野井 隆史 著  
教文館

不屈の精神と神に向かっての一途の歩み、同胞に対する熱い思い…。ローマで司祭になるも、日本へ帰国後、拷問・惨殺されたイエズス会士・ペトロ岐部カスイのドラマティックな生涯をたどる。

朝日新聞 2018/11/24

2008:8./ 299p,17p

978-4-7642-6431-1

本体 ¥1,900+税



### クルアーン～神の言葉を誰が聞くのか～(世界を読み解く一冊の本)

大川 玲子 著  
慶應義塾大学出版会

極めて難解とされるイスラームの聖典「クルアーン」。大半がイスラーム教徒(ムスリム)ではない日本人は、どのように読めばよいのか? ムスリムと非ムスリムの双方の視点を盛り込み、聖典を読む困難と楽しさを丁寧に解説。

朝日新聞 2018/11/24

2018:11./ 4p,206p

978-4-7664-2555-0

本体 ¥2,200+税



### タイの地獄寺

棕橋 彩香 著  
青弓社

カラフルでキッチュなコンクリート像が立ち並ぶ、タイの地獄寺。タイの伝統的な地獄思想やその表現をたどったうえで、地獄寺をタイの地獄表現史での「新しい地獄表現」と捉え、地獄寺がどのような場所であるかを明らかにする。

朝日新聞 2018/11/24

2018:10./ 157p

978-4-7872-2078-3

本体 ¥2,000+税





### 幻の同盟～冷戦初期アメリカの中東政策～<上>

小野沢 透 著  
名古屋大学出版会

西側世界の同盟相手として再発見された中東。イギリスの思惑や勃興するアラブ・ナショナリズムと交差しつつ、アメリカはいかにして中東政治への関与を深めていったのか。一次史料をもとに、冷戦初期アメリカの中東政策を描く。

朝日新聞 2018/11/24

2016:2./ 6p.638p  
978-4-8158-0829-7  
本体 ¥6,000+税



### 幻の同盟～冷戦初期アメリカの中東政策～<下>

小野沢 透 著  
名古屋大学出版会

中東の政治情勢、産油国と石油産業の抵抗を前に、「同盟プロジェクト」はその限界を露呈していく。挫折と迷走を経て、アメリカの政策決定者たちはどう舵を切ったのか。一次史料をもとに、冷戦初期アメリカの中東政策を描く。

朝日新聞 2018/11/24

2016:2./ 4p.p640?1243  
978-4-8158-0830-3

本体 ¥6,000+税



### クリスマスのあかり～チェコのイブのできごと～(世界傑作童話シリーズ)

レンカ・ロジノフスカ、出久根 育、木村 有子 著  
福音館書店

1年生になったばかりのフランタは、クリスマスを楽しみに待っていた男の子。クリスマスイブの日、奥さんのお墓にそなえる花を盗まれてしまった気の毒なおじいさんを助けるために、大きな勇気を振りしぼり...

朝日新聞 2018/11/24

2018:10./ 61p  
978-4-8340-8418-4

本体 ¥1,600+税



### 国際連合の基礎知識<2018>

国際連合広報局、八森 充 著  
関西学院大学出版会

国連に関する包括的な手引書。国際連合システム全体の歴史や機構と共に、それがどのように機能し、世界の人々のためにどのような活動を行っているかを紹介する。気候変動に関するパリ協定など、最近の協力を詳細に記載。

朝日新聞 2018/11/24

2018:10./ 490p  
978-4-86283-266-5

本体 ¥2,600+税



### 竹取物語 伊勢物語(BL 古典セレクション 1)

雪舟 えま 著  
左右社

それでも愛し合うことをやめられない。日本最古の物語文学「竹取物語」と平安中期の歌物語「伊勢物語」を、登場人物の性別を変え、ボーイズラブ化。現代語でわかりやすく書きかえた BL 古典セレクション。

朝日新聞 2018/11/24

2018:10./ 268p  
978-4-86528-212-2

本体 ¥1,700+税



### おばあちゃんのわすれもの

森山 京、100%ORANGE 著  
のら書店

こぶたのトンタは、おばあちゃんと一緒に、ニギヤカマチに出かけます。クリニック、洋品店、めがね屋、カフェと、たくさん寄り道したあとに、おばあちゃんは杖がないことに気づいて…。トンタの小さな冒険を温かく描いたお話。

朝日新聞 2018/11/24

2018:11./ 52p  
978-4-905015-42-0

本体 ¥1,300+税





**武蔵野樹林<vol.1(2018 秋)> 1000 万人が暮らす武蔵野台地とは(ウォーカームック)**

KADOKAWA

自然災害国ニッポンの未来は? 旧石器・縄文時代から文化的生活が営まれていた武蔵野の、文化探検から始める生き方マガジン。vol.1 は、「1000 万人が暮らす武蔵野台地とは」など 3 つの特集を掲載。

2018:10./ 146p  
978-4-04-884212-9

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/11/24、毎日新聞 2018/11/25



**彼方の本～間村俊一の仕事～**

間村 俊一、川上 朋子 著

筑摩書房

定規、糊、カッターナイフなどの道具だけを用いて端正な造本をつづける職人氣質の装幀家・間村俊一による創作論・作品集。装幀を手がけた約 300 点の書影をカラー写真で収載。間奏句集「ボヴァリー夫人の庭」55 句を付す。

2018:11./ 191p

978-4-480-87397-2

本体 ¥4,700+税



朝日新聞 2018/11/24、毎日新聞 2018/11/25



**徳政令～なぜ借金は返さなければならないのか～(講談社現代新書 2490)**

早島 大祐 著

講談社

日本の中世社会では、徳政という名のもと、債務破棄が認められていた。では、現代のような、借金は返さなければならないという意識を共有する社会はいかに形成されたのか。近世までの歴史を追い、その過程を明らかにする。

2018:8./ 314p

978-4-06-512902-9

本体 ¥880+税



東京・中日新聞 2018/11/04



**国語教育の危機～大学入学共通テストと新学習指導要領～(ちくま新書 1354)**

紅野 謙介 著

筑摩書房

思考力・判断力・表現力に乏しい人たちが「指導者意識」だけで旗をふる国語教育。「大学入学共通テスト」と「新学習指導要領」をつぶさに分析し、そこからかいま見える国語教育が抱える問題点を指摘し、警鐘を鳴らす。

2018:9./ 285p

978-4-480-07171-2

本体 ¥880+税



東京・中日新聞 2018/11/04



**天変地異**

黒鉄 ヒロシ 著

PHP研究所

秀吉と家康の闘い。その最中、天正大地震は起こった。もしも、この地震が無かったなら? 「天変地異」から日本史を読み解く、描き下ろし歴史マンガ。

2018:10./ 255p

978-4-569-84183-0

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2018/11/04



**田中角栄～同心円でいこう～(ミネルヴァ日本評伝選)**

新川 敏光 著

ミネルヴァ書房

日中国交正常化などの政策への再評価が進む一方、ロッキード事件等で金権政治の権化とも批判された政治家・田中角栄。彼が目指した政治とは何だったのか。田中政治の軌跡を辿りながら、戦後民主主義を再考する。

2018:9./ 8p,281p,7p

978-4-623-08425-8

本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2018/11/04



**文学はおいしい。**

小山 鉄郎、ハルノ 宵子 著  
作品社

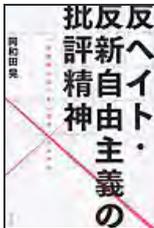
カツ丼:吉本ばなな「キッチン」、鯖の味噌煮:森?外「雁」、ビール:田山花袋「田舎教師」...。日本の食と文学への愛を綴ったエッセイ集。カラーの料理挿絵つき。共同通信社配信の連載を改題して単行本化。

2018:9./ 211p  
978-4-86182-719-8

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2018/11/04



**反ヘイト・反新自由主義の批評精神～いま読まれるべき<文学>とは何か～**

岡和田 晃 著  
寿郎社

停滞と閉塞のなかで「極右」「オタク」「スピリチュアル」批評がもてはやされる時代に、<文学>はどうあるべきか。気鋭の文芸批評家が、沖縄・アイヌ・北海道をめぐる書物を中心に渾身の一矢を放つ。

2018:8./ 432p  
978-4-909281-12-8

本体 ¥2,000+税



東京・中日新聞 2018/11/04



**日本婦道記(新潮文庫 や-3-6)**

山本 周五郎 著  
新潮社

貴方と生きると決めた時、私は涙を捨てた。厳しい武家社会の中で家族のために生き抜いた女性たちの、清々しいまでの強靭さと、凜とした美しさを描き切った 31 の名編。

2018:11./ 725p  
978-4-10-113481-9

本体 ¥890+税



東京・中日新聞 2018/11/11



**「身体(からだ)を売る彼女たち」の事情～自立と依存の性風俗～(ちくま新書 1360)**

坂爪 真吾 著  
筑摩書房

貧困、DV、虐待などを解決するために風俗で働く女性たち。自助と公助の狭間に落ち込んでしまった彼女たちが集う「いびつな共助」としての性風俗の世界を描き出し、自己責任論と感情論に満ちた社会に風穴をあける。

2018:10./ 283p  
978-4-480-07181-1

本体 ¥880+税



東京・中日新聞 2018/11/11



**戦国の城の一生～つくる・壊す・蘇る～(歴史文化ライブラリー 475)**

竹井 英文 著  
吉川弘文館

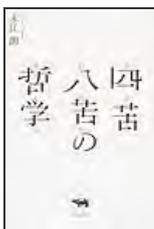
戦国期の城は、いつ誰の手で築かれ、いかに使われて廃城となったのか。築城技術やメンテナンス、廃城後の「古城」の再利用など、史料を博搜し読み解き、「城の使われ方」から戦争や城郭の実態を考えるヒントを与える。

2018:10./ 6p,206p  
978-4-642-05875-9

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2018/11/11



**四苦八苦の哲学～生老病死を考える～**

永江 朗 著  
晶文社

なにもかも、いやになる...。こうした気持ちと、どう折り合いをつけるのか。プラトン、ハイデガー、フーコー、ボーヴォワールなど、様々な哲学者たちのことばを補助線にしなが、世の中に満ちている苦しみについて考える。

2018:9./ 290p  
978-4-7949-7055-8

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2018/11/11



### 好日日記～季節のように生きる～

森下 典子 著

PARCO出版

週に一回、「お茶」の稽古に通って 40 年。稽古場での会話、稽古中に心の中にわき起こった感情、日々思うことなど、季節とともにめぐる茶道のお稽古の 1 年を綴った記録。「日日是好日」の続編。

東京・中日新聞 2018/11/11、産経新聞 2018/11/18

2018:10./ 221p

978-4-86506-279-3

本体 ¥1,500+税



### 10億分の1を乗り越えた少年と科学者たち～世界初のパーソナルゲノム医療はこうして実現した～

マーク・ジョンソン、キャスリーン・ギャラガー、梶山 あゆみ 著

紀伊國屋書店出版部

10 億人にひとりレベルの奇病を患った 2 歳の少年。万策つきた医師たちは、ゲノム解析により原因遺伝子を突きとめるという大胆な試みに踏み切る…。世界初のパーソナルゲノム医療が実現するまでを綴った医療ドキュメンタリー。

東京・中日新聞 2018/11/18

2018:11./ 321p

978-4-314-01165-5

本体 ¥1,800+税



### 銀河食堂の夜

さだ まさし 著

幻冬舎

謎めいたマスターが旨い酒と肴を出す、四つ木銀座にある風変わりな飲み屋を舞台に繰り広げられる、不思議で切ない連作長篇。「初恋心中」「小さな幸せ」など全 6 篇を収録。『小説幻冬』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2018/11/18

2018:9./ 314p

978-4-344-03360-3

本体 ¥1,389+税



### 50～いまの経済をつくったモノ～

ティム・ハーフォード、遠藤 真美 著

日本経済新聞出版社

新しいアイデアの誕生は、生活に予期せぬ影響をおよぼす。「粉ミルク」「電池」といった身近なモノから、「S 字トラップ」といったちょっと意外なモノまで、「50」のモノを軸に、現代経済を解説する。

東京・中日新聞 2018/11/18

2018:9./ 430p

978-4-532-17644-0

本体 ¥1,800+税



### 超越の棋士 羽生善治との対話

高川 武将 著

講談社

天才・羽生善治の深い奥行きをたたえた肉声の数々。苦渋の竜王戦敗退から永世 7 冠達成まで、7 年超の長期取材を敢行した著者によるインタビュー・ノンフィクション。渡辺明、久保利明、谷川浩司らのインタビューも収録。

東京・中日新聞 2018/11/25

2018:9./ 407p

978-4-06-513218-0

本体 ¥1,800+税



### マーガレット・サッチャー～政治を変えた「鉄の女」～(新潮選書)

富田 浩司 著

新潮社

英国初の女性首相サッチャーの功績は、経済再生と冷戦勝利だけではない。なぜ彼女は閉塞感に包まれていた社会を変革できたのか。対メディア戦略・大統領型政治・選挙戦術...「鉄の女」が政治にもたらした革命の全貌を分析する。

東京・中日新聞 2018/11/25

2018:9./ 302p

978-4-10-603832-7

本体 ¥1,400+税





**帝国化する日本～明治の教育スキャンダル～(ちくま新書 1357)**

長山 靖生 著  
筑摩書房

明治初頭の合理主義教育は、なぜ精神主義へと堕したのか。哲学館事件など象徴的事件から、明治初頭の実学優先・合理主義の教育が教養・精神主義に転換し、国家と天皇の神聖化、帝国神話強化に向かうメカニズムを解説する。

東京・中日新聞 2018/11/25

2018:9./ 238p  
978-4-480-07174-3

本体 ¥800+税



**はじめての明治史～東大駒場連続講義～(ちくまプリマー新書 312)**

山口 輝臣 編  
筑摩書房

幕府はどうして倒れたのか？ 武士は明治をどう生きたのか？ 第一線で活躍する歴史家が、明治史に関する素朴でありながら本質的な質問に正面から答える。東大駒場連続講義の内容と、そこでの学生との質疑応答を収録。

東京・中日新聞 2018/11/25

2018:11./ 271p  
978-4-480-68338-0

本体 ¥920+税



**東大式世界一美しく正しい歩き方～100歳まで健康で動けるカラダをつくる!～**

小林 寛道 著  
日本文芸社

腰痛・膝痛にならない、姿勢がよくかっこよい、下半身を引き締める…。動きの質を高める大腰筋ウォーキングは体にやさしく、健康効果がいっぱい！ スポーツ科学に基づく機能的かつ合理的な理想の歩き方を紹介する。

東京・中日新聞 2018/11/25

2018:6./ 199p  
978-4-537-21587-8

本体 ¥1,300+税



**トランプのアメリカに住む(岩波新書 新赤版 1736)**

吉見 俊哉 著  
岩波書店

アメリカに住むことで見えてくる世界の変容とは何か。ハーバード大学客員教授として1年間滞在した著者が、トランプ政権下の人々の動きをリアルタイムで追い、黄昏の「アメリカの世紀」の現実とその未来について考察する。

読売新聞 2018/11/04

2018:9./ 2p,256p,6p  
978-4-00-431736-4

本体 ¥840+税



**国宝<上> 青春篇**

吉田 修一 著  
朝日新聞出版

1964年元旦、長崎の老舗料亭で、この国の宝となる役者・立花喜久雄は生まれた。この世ならざる美貌は人々を巻き込み、喜久雄の人生を思わぬ域にまで連れ出し…。『朝日新聞』連載に加筆修正して単行本化。

読売新聞 2018/11/04

2018:9./ 351p  
978-4-02-251565-0

本体 ¥1,500+税



**国宝<下> 花道篇**

吉田 修一 著  
朝日新聞出版

技をみがき、道を究めようともがく男たち。血族との深い絆と軋み、信頼と裏切り。舞台、映画、テレビと芸能界の転換期を駆け抜け、その頂点に登りつめた先に何が見えるのか？ 『朝日新聞』連載に加筆修正して単行本化。

読売新聞 2018/11/04

2018:9./ 353p  
978-4-02-251566-7

本体 ¥1,500+税





**名人～志ん生、そして志ん朝～(朝日文庫 こ22-2)**

小林 信彦 著  
朝日新聞出版

志ん朝は文句なしに「名人」と呼べる実力者でありながら、志ん生の存在があるので、人々はためらっていた…。古今亭志ん朝と父・志ん生を軸に、東京落語の過去と現在を著者の体験を織り交ぜて描く。志ん朝との幻の対談も収録。

2018:10./ 265p  
978-4-02-261945-7  
本体 ¥660+税



読売新聞 2018/11/04



**エドゥアール・マネ～西洋絵画史の革命～(角川選書 607)**

三浦 篤 著  
KADOKAWA

模倣と借用によって創造し、古典と前衛の対立を超えてしまう過激な画家は、芸術のルールをいかにして変えたのか。エドゥアール・マネの謎めいた絵画作品の魅力と、21世紀へと続くその影響力に迫る。

2018:10./ 299p,20p  
978-4-04-703581-2  
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/11/04



**すべての道は役者に通ず**

春日 太一 著  
小学館

石坂浩二、藤竜也、橋爪功、火野正平、松平健、佐藤浩市、中井貴一…。23人の名優が芝居の魔力と仕事論を語り尽くす、白熱インタビュー集第2弾。『週刊ポスト』連載「役者は言葉でできている」を大幅に加筆して書籍化。

2018:10./ 381p  
978-4-09-380105-8  
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/11/04



**黄色毒矢事件～少年探偵春田龍介～(新潮文庫 や-3-91)**

末國 善己 編  
山本 周五郎 著  
新潮社

春田龍介、中学2年。学業優秀、推理拔群。若き日の山本周五郎が旺盛に執筆した血湧き肉躍る少年小説のうち<春田龍介もの>を厳選。龍介が巧妙な方法で犯人を炙り出す表題作ほか、全7編を収録。

2018:10./ 367p  
978-4-10-113471-0  
本体 ¥590+税



読売新聞 2018/11/04



**きょうも誰かが悩んでる～「人生案内」100年分～**

読売新聞生活部 著  
中央公論新社

恋に結婚、家族や友人、仕事、生き方…。新聞を広げれば、やっぱりきょうも誰かが悩んでる! 連載100年を迎えた読売新聞の人気コラム「人生案内」から珍相談・名回答を厳選して紹介する。

2015:6./ 221p  
978-4-12-004736-7  
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/11/04



**宇宙はどこまで行けるか～ロケットエンジンの実力と未来～(中公新書 2507)**

小泉 宏之 著  
中央公論新社

月や小惑星で資源を採掘、火星に有人探査機を送る。ベンチャー企業が勃興し、宇宙が新たなビジネスの主戦場になりつつある。世界初の小型イオンエンジン実用化を果たした若き研究者が、人類の可能性の限界に迫る。

2018:9./ 2p,309p  
978-4-12-102507-4  
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/11/04



**スポーツ映画トップ100(文春新書 1181)**

芝山 幹郎 著  
文藝春秋

さまざまな競技を通じて人間の姿を描き出すスポーツ映画。古今東西のスポーツ映画をランキングし、1位から100位までを紹介する。『Sports Graphic Number』連載を書籍化。

2018:9./ 319p  
978-4-16-661181-2  
本体 ¥980+税



読売新聞 2018/11/04



**土 地球最後のナゾ～100億人を養う土壌を求めて～(光文社新書 962)**

藤井 一至 著  
光文社

世界の土はたった12種類。毎日の食卓を支え、地球の未来を支えてくれる本当に「肥沃な土」はどこに? そもそも土とは一体何なのか? 泥にまみれて地球を巡った研究者が、土の不思議な魅力を語る。

2018:8./ 219p  
978-4-334-04368-1  
本体 ¥920+税



読売新聞 2018/11/04



**絶滅できない動物たち～自然と科学の間で繰り広げられる大いなるジレンマ～**

M.R.オコナー、大下 英津子 著  
ダイヤモンド社

飼育下繁殖から、iPS細胞、ゲノム編集まで、絶滅に挑むテクノロジーと自然保護の現場を徹底取材。人が介入すればするほど、「自然」から遠ざかっていく自然保護と種の再生テクノロジーの矛盾を暴く。

2018:9./ 13p,372p  
978-4-478-06731-4  
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/11/04



**遺言～対談と往復書簡～(ちくま文庫 い44-2)**

志村 ふくみ、石牟礼 道子 著  
筑摩書房

今、会って話しておかなければ。未曾有の大災害と原発事故の後、言葉を交わしあうことを強く望んだ染織家と作家。長年の友人である二人が、「一日一日が最後のよう日々」の中で、切望し実現した対談と往復書簡。

2018:9./ 280p 図版  
16p  
978-4-480-43531-6  
本体 ¥950+税



読売新聞 2018/11/04



**星をつなぐ手～桜風堂ものがたり～**

村山 早紀 著  
PHP研究所

桜風堂書店を託され、昔の仲間たちとともに「四月の魚」をヒット作に導いた一整。しかし地方の小さな書店では人気作の配本がなく、出版の営業も相手にしてくれない。そんな折、昔在籍していた書店のオーナーから呼び出され...

2018:7./ 298p  
978-4-569-84074-1  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/11/04



**結婚相手は抽選で(双葉文庫 か-36-05)**

垣谷 美雨 著  
双葉社

少子化対策のため「抽選見合い結婚法」が制定されることになった。それを喜ぶ人もいれば、慌てて結婚してしまう人もいて...。それぞれの見合い事情をコミカルに描くif小説。

2014:6./ 302p  
978-4-575-51684-5  
本体 ¥611+税



読売新聞 2018/11/04



### 世界を変えた 100 の化石(大英自然史博物館シリーズ 1)

ポール・D.テイラー、アーロン・オデア、真鍋 真、的場 知之 著  
エクスマレッジ

大英自然史博物館とアメリカのスミソニアン博物館所蔵の標本の中から、地球 35 億年、7 大陸の歴史に残る化石 100 点を美しい写真とともに解説。先カンブリア紀から新生代まで、地質学的時間の年代区分に従って収録する。

2018:7./ 221p  
978-4-7678-2497-0

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/11/04



### リアルサイズ古生物図鑑～古生物のサイズが実感できる!～<古生代編>

土屋 健、群馬県立自然史博物館 著  
技術評論社

水揚げされた海洋動物アノマロカリス、犬と昼寝する哺乳類の親戚ディイクトドン...。古生物をリアルなイラストで再現し、現代景色に配置した図鑑。先カンブリア時代末のエディアカラ紀?古生代末のペルム紀の古生物を収録。

2018:7./ 207p  
978-4-7741-9913-9

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2018/11/04



### 朝毎読～蜂飼耳書評集～

蜂飼 耳 著  
青土社

読書が私のいまをつくる。本と出会う。思いがけず残る言葉。その蓄積がいまをつくと、ふと気づく。詩人・作家の蜂飼耳が『読売新聞』『朝日新聞』に寄せた書評を集成。『毎日新聞』掲載コラムも収録する。

2018:10./ 204p  
978-4-7917-7114-1

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/11/04



### 一九四〇年代の<東北>表象～文学・文化運動・地方雑誌～

森岡 卓司 編  
東北大学出版会

1945 年の敗戦、占領という経験に前後する 1940 年代の日本文学は、東北及び北日本をどのように描いたのか。東北に疎開した文学者、ローカルメディア、各地に展開された文化運動がそれぞれに照射した「地方」の姿を追う。

2018:10./ 4p,265p  
978-4-86163-314-0

本体 ¥5,000+税



読売新聞 2018/11/04



### 民主主義の死に方～二極化する政治が招く独裁への道～

スティーブン・レビツキー、ダニエル・ジブラット、濱野 大道 著  
新潮社

現代の民主主義の死は、選挙から始まる。20 世紀にヨーロッパやラテンアメリカで起きた民主主義の崩壊を長年研究してきた 2 人の著者が、世界の民主主義の現状を分析し、将来に向けて打つべき手を提言する。

2018:9./ 318p  
978-4-10-507061-8

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2018/11/04、東京・中日新聞 2018/11/18



### 評伝小室直樹<上> 学問と酒と猫を愛した過激な天才

村上 篤直 著  
ミネルヴァ書房

稀代の社会学者・小室直樹の学問と人生の軌跡を辿る評伝。上は、柳津国民学校、会津中学・高校、京都大学時代から、米国留学、東京大学大学院法学政治学研究科での研究生生活、伝説の「小室ゼミ」、出生の謎までを描く。

2018:9./ 9p,679p,70p  
978-4-623-08384-8

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/11/04、日本経済新聞 2018/11/10



**評伝小室直樹<下> 現実はやがて私に追いつくであろう**

村上 篤直 著  
ミネルヴァ書房

稀代の社会学者・小室直樹の学問と人生の軌跡を辿る評伝。下は、40 万部を超えた「ソビエト帝国の崩壊」の刊行、小室ゼミの終焉、結婚、晩年、没後までを描く。略年譜なども収録。

2018:9./ 9p,685p,45p  
978-4-623-08385-5

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/11/04、日本経済新聞 2018/11/10



**母の前で**

ピエール・パシエ、根本 美作子 著  
岩波書店

老いることで自分の母親は、遠くへと去ってしまう。最後まで尊厳を保とうとする母親と向き合いながら、“その人をその人たらしめているものとは何であるのか”という人間の意識の境界を問い続けた思索の日々を綴る。

2018:10./ 7p,214p  
978-4-00-024487-9

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/11/04、毎日新聞 2018/11/25



**30代の働く地図**

玄田 有史 編  
大嶋 寧子 著  
岩波書店

多様になる会社との契約、転職や副業の実態、心身の健康問題…。人生の岐路にある30代を念頭に、働くことにまつわる、知っているようで知らなかった事実や気づきのヒントを、11の切り口から丁寧に解説する。

2018:10./ 7p,350p,2p  
978-4-00-061296-8

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/11/11



**啄木・ローマ字日記(岩波文庫 緑 54-4)**

石川啄木、桑原武夫 著  
岩波書店

1909年、単身本郷の下宿に移り住んだ啄木はローマ字で日記を綴り始める。若く清新な芸術家たちとの交わり、来信に触発され燃え上る想い、また一転して私娼窟に沈む日々、脳裏を重くよぎる妻のこと子のこと。

1977:9./ 265p  
978-4-00-310544-3

本体 ¥660+税



読売新聞 2018/11/11



**仕事にしばられない生き方(小学館新書 324)**

ヤマザキ マリ 著  
小学館

好きな仕事をどこまで頑張るか。金にならない職業をいつまで続けるか。チリ紙交換、絵描き、大学教師、リポーター、勤め人など幾多の職業を経験してきた著者が、自由に生きるための「お金」と「働くこと」について語る。

2018:10./ 317p  
978-4-09-825324-1

本体 ¥880+税



読売新聞 2018/11/11



**没イチ～パートナーを亡くしてからの生き方～**

小谷 みどり 著  
新潮社

配偶者を亡くしたシニアがどう立ち直り、新たな生活をスタートさせたかという事例を紹介するとともに、「没イチ(配偶者が没し、一人になること)」になる前の心積もりや準備、没イチのこれからの生き方、終活などを解説する。

2018:10./ 205p  
978-4-10-352131-0

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/11/11



**父より娘へ谷崎潤一郎書簡集～鮎子宛書簡二六二通を読む～**

谷崎 潤一郎、千葉 俊二 編  
谷崎 潤一郎 著  
中央公論新社

「妻譲渡事件」の背後には、才能を封印された一人の少女がいた。父は谷崎潤一郎。美しい母が再婚した相手は佐藤春夫。谷崎潤一郎が娘・鮎子に宛てた全 262 通の書簡を収録する。千葉俊二による解説も掲載。

2018:10./ 321p  
978-4-12-005123-4  
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2018/11/11



**中国経済講義～統計の信頼性から成長のゆくえまで～(中公新書 2506)**

梶谷 懐 著  
中央公論新社

中国の経済統計は信頼できるか。不動産バブルを止められるか。格差問題を乗り越えられるか。中国経済が直面する根本的な課題について分析。表面的な変化の奥にある、中国経済の本質を明らかにする。

2018:9./ 5p,255p  
978-4-12-102506-7  
本体 ¥880+税



読売新聞 2018/11/11



**表現の技術(中公文庫 た 92-1)**

高崎 卓馬 著  
中央公論新社

CM は見ようと思わなくても見てしまうもの。だから面白くなくてはいけない。「探しても見なくなるもの」「教えたくなるもの」をつくり出すための方法論や心構えを、具体例をあげて解説する。書き下ろしを加えて文庫化。

2018:10./ 252p  
978-4-12-206652-6  
本体 ¥700+税



読売新聞 2018/11/11



**ゼロ年代の想像力(ハヤカワ文庫 JA 1047)**

宇野 常寛 著  
早川書房

読売新聞 2018/11/11

2011:9./ 476p  
978-4-15-031047-9  
本体 ¥820+税

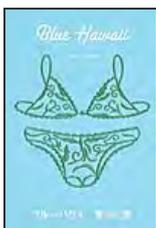


**ジューズの事件簿<才智縦横の巻>(文春文庫 ウ 22-1)**

P.G.ウッドハウス 著  
文藝春秋

読売新聞 2018/11/11

2011:5./ 260p  
978-4-16-770592-3  
本体 ¥590+税



**ブルーハワイ**

青山 七恵 著  
河出書房新社

いま、わたしは、わっと泣きだしたいくらいの敗北感を覚える。あなたの心にそっと染み込む、至極の短篇集。表題作ほか「辰年」「聖ミクラーシュの日」など、全 6 篇を収録する。『文藝』等掲載を単行本化。

2018:7./ 233p  
978-4-309-02705-0  
本体 ¥1,550+税



読売新聞 2018/11/11



**方丈記(光文社古典新訳文庫 KA カ3-1)**

鴨 長明 著

光文社

災厄の数々、生のはかなさ…。人間と、人間が暮らす建物を一つの軸として綴られた、日本中世を代表する随筆の新訳。原典、和歌 10 首、訳者のエッセイも収録する。

2018:9./ 152p

978-4-334-75386-3

本体 ¥640+税



読売新聞 2018/11/11



**カプセルフィッシュ(光文社文庫 お55-1)**

大西 智子 著

光文社

不倫、流産ののち、追われるように会社を辞めた 28 歳ののりこは、海辺の小さな町で気丈夫に生きる祖母や、事情を抱える不思議な少女との対話の中で、少しずつ成長していき…。生き方を模索する姿を軽妙に描いた連作集。

2018:10./ 319p

978-4-334-77732-6

本体 ¥780+税



読売新聞 2018/11/11



**探偵小説の黄金時代～現代探偵小説を生んだ作家たちの秘密～**

マーティン・エドワーズ、森 英俊、白須 清美 著

国書刊行会

クリスティー、セイヤーズらが集い、1930 年に発足した英国探偵作家の親睦団体<ディテクション・クラブ>。伝説的な入会儀式、名作誕生の内幕、知られざる私生活など、クラブ草創期の歴史と作家群像を生き生きと描く。

2018:10./ 425p,7p,25p

978-4-336-06300-7

本体 ¥4,600+税



読売新聞 2018/11/11



**ボーヴォワール戦中日記**

シモーヌ・ド・ボーヴォアール 著

人文書院

読売新聞 2018/11/11

1993:5./ 344p

978-4-409-14038-3

本体 ¥4,800+税



**県別方言感覚表現辞典**

友定 賢治 編

東京堂出版

方言の感覚表現を県別にまとめた辞典。都道府県別では方言的位置づけ、感覚表現形式、オノマトペを掲載。語彙別では「なにか(おいしい)ものが食べたいね」といった共通文を各都道府県の表現にして列記し、語釈等を付す。

2018:8./ 14p,354p

978-4-490-10904-7

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2018/11/11



**ビーマイベイビー～信藤三雄レトロスペクティブ～**

信藤 三雄 著

平凡社

日本を代表するアートディレクター・信藤三雄の全貌に迫る。2018 年 7?9 月開催の大規模回顧展(世田谷文学館)の公式カタログ。レコード、CD、ポスターなど約 1000 点を掲載。小西康陽らのインタビューも収録。

2018:8./ 325p

978-4-582-20713-2

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2018/11/11

**世界史のなかの文化大革命(平凡社新書 891)**馬場 公彦 著  
平凡社

文化大革命とは何だったのか。中国という特殊な空間と歴史のなかで起こった一度きりの出来事なのだろうか。それとも、どの国、どの社会でも起こりうる現象なのか。国際的要因と越境性を重視し、文革のもうひとつの真実に迫る。

2018:9./ 331p  
978-4-582-85891-4  
本体 ¥920+税

読売新聞 2018/11/11

**ファン・ゴッホ書簡全集<6>**ファン・ゴッホ 著  
みすず書房

弟テオ宛ての書簡は 5 巻で終わり、本巻はその他の人々、ラッパルトやベルナル、補遺を収録。

1984:12./ p1773 ~  
2,105,5p,20p  
978-4-622-01546-8

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2018/11/11

**Haruki Murakami を読んでいるときに我々が読んでいる者たち**辛島 デイヴィッド 著  
みすず書房

世界で最も広く読まれている日本人小説家・村上春樹。世界へのブレイクスルーまでの道のりを後押しした出版界のスペシャリストたちとの対話と、村上本人のインタビューをもとに、世界的作家が生まれるまでのストーリーを追う。

2018:9./ 356p,24p  
978-4-622-08700-7  
本体 ¥3,200+税

読売新聞 2018/11/11

**卓さんの文人楽～芥川賞を蹴った男～**竹内 勝巳 著  
栄光出版社

戦前・戦中・戦後の文壇に登場する著名人の姿と、芥川賞をめざす青年たち。日本神話を自詞・自曲のオペラ台本「神代ものがたり」に創り上げ、全芥川賞受賞者の中で唯一受賞を辞退した高木卓の物語。

2018:9./ 203p  
978-4-7541-0167-1  
本体 ¥1,300+税

読売新聞 2018/11/11

**ひとり飲みの女神様(メゾン文庫 い 2-1-1)**五十嵐 雄策 著  
一迅社

平凡な OL、川本月子の唯一の楽しみは、毎週金曜日に飲みに行くこと。白海老の唐揚げとビール、ぷりっぷりの生牡蠣とサワーなど、お酒とグルメを堪能。ぶらりと立ち寄った酒場では、一期一会の意外な“縁”もあり...?

2018:10./ 245p  
978-4-7580-9110-7  
本体 ¥620+税

読売新聞 2018/11/11

**海について、あるいは巨大サメを追った一年～ニシオンデンザメに魅せられて～**モルテン・ストロークスネス、岩崎 晋也 著  
化学同人

400 年以上も生き続けるといわれる、謎に満ちた巨大サメ・ニシオンデンザメ。神秘のサメに魅せられた 2 人の男が、小さなボートに乗り込み、捕獲に挑んだ 1 年の記録。生命の素晴らしさ、自然の美しさと厳しさを活写する。

2018:7./ 320p  
978-4-7598-1971-7  
本体 ¥2,600+税

読売新聞 2018/11/11



### 居酒屋チェーン戦国史(イースト新書 108)

中村 芳平 著  
イースト・プレス

外食産業のなかでも人気チェーンの浮き沈みが激しい居酒屋業界。誰もが知る大手チェーンはいかにして成功し、やがて衰退していったのか。“水商売”を“ビッグ・ビジネス”にした異端の創業者たちの闘いの物語をひもとく。

2018:10./ 271p  
978-4-7816-5108-8

本体 ¥861+税



読売新聞 2018/11/11



### じわりとアトリエ日記

野見山 暁治 著  
生活の友社

勲章をもらって以来、母校とはやけに、付き合うことが多くなった。ホンネを晒した絵描きのつぶやき。2013年11月?2017年2月分を収録する。『美術の窓』連載を加筆修正し単行本化。

2017:12./ 505p

978-4-908429-15-6

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2018/11/11



### インヴィジブル

ポール・オースター、柴田 元幸 著  
新潮社

1967年のニューヨーク。青年の人生は、突然の暴力と禁断の愛に翻弄された。フランスへ、再びアメリカへ、そしてカリブ海へ。語り手を変えながら綴られる物語は、彼の本当の姿を明らかにするのか? 新境地を拓く長篇小説。

2018:9./ 286p

978-4-10-521720-4

本体 ¥2,100+税



読売新聞 2018/11/11、産経新聞 2018/11/18



### 脳科学者の母が、認知症になる～記憶を失うと、その人は“その人”でなくなるのか?～

恩蔵 絢子 著  
河出書房新社

母親がアルツハイマー型認知症だと診断された脳科学者が、記憶を失っていく母親の日常生活を2年半にわたって記録。認知症が「その人らしさ」に与える影響について考察する。

2018:10./ 219p

978-4-309-02735-7

本体 ¥1,650+税



読売新聞 2018/11/11、毎日新聞 2018/11/11



### 加藤周一はいかにして「加藤周一」となったか～『羊の歌』を読みなおす～

鷺巣 力 著  
岩波書店

秩序に対する美意識、父母との関係、孤独、戦争体験…。戦後日本を代表する知識人・加藤周一の半生記「羊の歌」を、厩大なノートや著作、近親者などからの証言をもとに、精確に読みなおす。

2018:10./ 18p,507p

978-4-00-061294-4

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2018/11/18



### 嘘つきアーニャの真っ赤な真実(角川文庫)

米原 万里 著  
角川書店

読売新聞 2018/11/18

2004:6./ 301p

978-4-04-375601-8

本体 ¥560+税





**東京零年(集英社文庫 あ 6-64)**

赤川 次郎 著  
集英社

昔殺されたはずの男・湯浅道男が生きていることを知った亜紀と健司は、事件の真相を解明するために動き出す。しかし、待ち受けていたのは抗いようのない公権力の壁だった…。

読売新聞 2018/11/18

2018:10./ 625p  
978-4-08-745795-7  
本体 ¥920+税



**さいはての中国(小学館新書 335)**

安田 峰俊 著  
小学館

ネット中毒者たちのスラム街、広州に出現したアフリカ人村、内モンゴルの超弩級ゴースタウン、共産党テーマパーク…。未知なる中国を探し求める著者が、現代中国の素顔を炙り出す。『SAPIO』掲載を改稿し書籍化。

読売新聞 2018/11/18

2018:10./ 269p  
978-4-09-825335-7  
本体 ¥820+税



**死者の雨～モヘンジョダロの墓標～**

周木 律 著  
新潮社

人工知能学者のヒュウガ博士が謎の死を遂げ、世界各地で4人の博士の怪死体が発見される。ヒュウガ博士が遺した「アトラスの謎」の真相とは? 完全記憶を持つ天才数学者・一石豊が人類最大の秘密を暴く!

読売新聞 2018/11/18

2018:9./ 396p  
978-4-10-336992-9  
本体 ¥1,900+税



**大隈重信と政党政治～複数政党制の起源 明治十四年～大正三年～**

五百旗頭 薫 著  
東京大学出版会

明治期政党政治史において傍流とされていた大隈系の政党は、この時期の政治の重要なアクターであった。本書は、大隈系政党の経済政策を歳入増加構想に着目して分析、複数政党制が実現した時代のダイナミクスを描き出す。

読売新聞 2018/11/18

2003:4./ 336p  
978-4-13-036215-3  
本体 ¥6,200+税



**熱帯**

森見 登美彦 著  
文藝春秋

沈黙読書会で見かけた奇妙な本「熱帯」。それは、どうしても「読み終われない本」だった。結末を求めて悶えるメンバーが集結し、世紀の謎に挑む! ウェブ文芸誌『マトグロツ』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2018/11/18

2018:11./ 523p  
978-4-16-390757-4  
本体 ¥1,700+税



**メンデルスゾーンの音符たち～池辺晋一郎の「新メンデルスゾーン考」～**

池辺 晋一郎 著  
音楽之友社

メンデルスゾーンの真価を楽譜の行間から探り、その音楽の魅力と卓抜した作曲センスを、名調子で説き明かす。大作曲家の音楽、作品、音符にこだわる「音符たち」シリーズ第10弾。『音楽の友』連載に加筆訂正し単行本化。

読売新聞 2018/11/18

2018:9./ 182p  
978-4-276-20071-5  
本体 ¥2,600+税





**宝石・遺産(光文社古典新訳文庫 KA モ 2-3)**

モーパッサン、太田 浩一 著

光文社

夫婦のあいだに横たわる不気味な深淵、下級役人の虚栄心と金銭にたいする執着、女性の無節操、ブルジョワの偽善など、モーパッサン好みのテーマが盛り込まれた6篇を収録した中・短篇集。

2018:11./ 344p

978-4-334-75389-4

本体 ¥960+税



読売新聞 2018/11/18



**人間の悩み、あの神様はどう答えるか～世界の神々と神話に学ぶ人生哲学～(青春文庫 お-54)**

沖田 瑞穂 著

青春出版社

仕事、恋愛、人間関係…。様々なジャンルの人間の悩みを、アマテラスなど日本の神様から、ギリシャ神話やインド神話などに登場する世界中の神様まで、総勢50の神様が神話のエピソードを元にアドバイスする。

2018:10./ 187p

978-4-413-09707-9

本体 ¥700+税



読売新聞 2018/11/18



**日銀日記～五年間のデフレとの闘い～**

岩田 規久男 著

筑摩書房

消費税増税、経済音痴の政治家、誤解だらけのマスコミ...リフレの敵とはなんだったのか。その間、日本と世界の経済をどうとらえ、「物価安定の目標」達成のために何をしたのか。日銀副総裁を務めた経済学者の5年間の記録。

2018:10./ 427p

978-4-480-86459-8

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2018/11/18



**サバイバルボディー～人類の失われた身体能力を取り戻す～**

スコット・カーニー、小林 由香利 著

白水社

短パン姿で、キリマンジャロ登頂! 過酷な環境にわが身をさらし、ついに「凍えぬ体」を獲得したジャーナリストが、人類が進化の過程で失った能力を引き出す方法の一部始終を明かす、サイエンス・ノンフィクション。

2018:9./ 308p,3p 図版

16p

978-4-560-09653-6

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/11/18



**子ども文庫の100年～子どもと本をつなぐ人びと～**

高橋 樹一郎 著

みすず書房

子どものための私設図書室、「子ども文庫」は、石井桃子の本をきっかけとして全国各地に広がり、やがて図書館づくり運動、親子読書運動などにつながっていく。文庫の実態を全国を廻って調べ、その全体像を示す。

2018:11./ 319p,15p

978-4-622-08746-5

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/11/18



**廃道を歩く～地図で楽しむ「忘れられた道」～**

石井 あつこ 著

洋泉社

役目を終えた旧道、自然災害で通行不能になった道、通う者がいなくなった道、開通しなかった未成道...。廃道の物語を新旧地形図の見比べや市町村誌などの資料から見つけ出し、現地探索と周辺住民への聞き取りで紐解く。

2018:11./ 159p

978-4-8003-1569-4

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/11/18



**カフェノナマエ～The Naming of Cats/Cafe is a difficult matter～**

川口 葉子 著  
キノブックス

映画の題名、動物たち、造語、偶然が生んだ奇跡…。店名には、こんなにも人を惹きつける物語が隠れてる！ 全国 208 軒のカフェ・喫茶店の「お店の名前の由来」を、美しい写真とともに紹介する。

読売新聞 2018/11/18

2018:4./ 255p  
978-4-908059-91-9  
本体 ¥1,700+税



**大槻文彦『言海』～辞書と日本の近代～(世界を読み解く一冊の本)**

安田 敏朗 著  
慶應義塾大学出版会

明治・大正時代の国語学者・大槻文彦が編纂した、日本初の近代的国語辞典「言海」。辞書が必要とされた背景や社会に与えた影響などについて、規範と国語とナショナリズム・政治のむすびつきという観点もふくめて読み解く。

読売新聞 2018/11/18、朝日新聞 2018/11/24

2018:10./ 5p,196p  
978-4-7664-2554-3  
本体 ¥2,000+税



**愛なき世界**

三浦 しをん 著  
中央公論新社

洋食屋の見習い・藤丸陽太が恋をした本村紗英は、三度の飯よりシロイヌナズナ(葉っぱ)の研究が好き。人生のすべてを植物に捧げる本村に、藤丸は恋の光合成を起こせるのか!? 『読売新聞』連載を加筆・修正し単行本化。

読売新聞 2018/11/18、毎日新聞 2018/11/18

2018:9./ 447p  
978-4-12-005112-8  
本体 ¥1,600+税



**東西ベルリン動物園大戦争**

ヤン・モーンハウプト、黒鳥 英俊、赤坂 桃子 著  
CCCメディアハウス

冷戦時代、分断されたベルリンにあった 2 つの動物園では、奇妙な代理戦争がくりひろげられていた。2 人の園長はゾウや希少動物の数を競い、存在感を誇示して…。知られざる冷戦の歴史に迫る。

読売新聞 2018/11/18、毎日新聞 2018/11/25

2018:9./ 373p  
978-4-484-18108-0  
本体 ¥2,600+税



**吾輩は猫である 改版(岩波文庫)**

夏目 漱石 著  
岩波書店

猫を語り手として苦沙弥・迷亭ら太平の逸民たちに滑稽と諷刺を存分に演じさせ語らせたこの小説は『坊っちゃん』とあい通ずる特徴をもっている。この豊かな小説言語の水脈を発見することで英文学者・漱石は小説家漱石となった。

読売新聞 2018/11/25

1990:4./ 563p  
978-4-00-310101-8  
本体 ¥700+税



**ミッションスクールになぜ美人が多いのか～日本女子とキリスト教～(朝日新書 691)**

井上 章一、郭 南燕、川村 信三 著  
朝日新聞出版

女子アナ、読者モデルは、なぜキリスト教系大学出身女性が多いのか。キリスト教と女性の関係を問題提起し、日本のカトリック系女子教育が採った上流階層路線の成功や、日本に流れるキリスト教への憧れを検証する。

読売新聞 2018/11/25

2018:11./ 247p  
978-4-02-273795-3  
本体 ¥810+税





**静かに、ねえ、静かに**

本谷 有希子 著  
講談社

ネットショッピング依存症から抜け出せず夫に携帯を取り上げられた妻。自分たちだけの「印」を世間に見せるために動画撮影をする夫婦…。SNS に頼り、翻弄され、救われる姿を描く。『群像』掲載を単行本化。

読売新聞 2018/11/25

2018:8./ 188p  
978-4-06-512868-8

本体 ¥1,400+税



**太平洋〜その深層で起こっていること〜(ブルーボックス B-2068)**

蒲生 俊敬 著  
講談社

世界最大の広さを誇り、世界最深点をそのうちに秘める太平洋。人類最後の秘境=深海底はどんな世界なのか? 水深 1000m にひそむ火山の正体とは? 調査航海・潜航歴 40 年の第一人者が、太平洋の謎を明らかにする。

読売新聞 2018/11/25

2018:8./ 270p

978-4-06-512870-1

本体 ¥1,000+税



**ウスケボーイズ〜日本ワインの革命児たち〜(小学館文庫 か 49-2)**

河合 香織 著  
小学館

「絶対に無理」と言われた日本でのワイン用ぶどうの栽培に成功し、栽培から醸造まで一貫して手がけ、高い評価を得るようになった 3 人の若手ワイン醸造家たちの、成功までの物語。2018 年 10 月公開映画の原作。

読売新聞 2018/11/25

2018:10./ 252p

978-4-09-406570-1

本体 ¥570+税



**山椒大夫・高瀬舟 改版(新潮文庫)**

森 鷗外 著  
新潮社

読売新聞 2018/11/25

1985:1./ 280p

978-4-10-102005-1

本体 ¥490+税



**冷血<上>(新潮文庫 た-53-16)**

高村 薫 著  
新潮社

求人サイトを通じて顔を合わせたばかりの男たちが、一家殺害という凶行におよぶ。数多の痕跡を残しながら、逃走する犯人たち。翻弄される警察組織の中で、合田雄一郎がふたたび動き出す…。生と死、罪と罰を問い直す長篇小説。

読売新聞 2018/11/25

2018:11./ 475p

978-4-10-134725-7

本体 ¥710+税



**冷血<下>(新潮文庫 た-53-17)**

高村 薫 著  
新潮社

容疑者はすでに犯行を認め、事件は容易に「解決」へ向かうと思われたが、二転三転する供述。幾層にも重なっていく真実。都市の外れに広がる「荒野」を前に合田が抱いた決意とは? 生と死、罪と罰を問い直す長篇小説。

読売新聞 2018/11/25

2018:11./ 440p

978-4-10-134726-4

本体 ¥670+税





**ビッグデータと人工知能～可能性と畏を見極める～(中公新書 2384)**

西垣 通 著  
中央公論新社

人工知能が人間を超える!? 基礎情報学にもとづいて、ビッグデータや人工知能の現在の動向と論点を明快に整理し分析。技術万能主義に警鐘を鳴らし、知識増幅と集合知を駆使することにより拓かれる未来の可能性を提示する。

2016:7./ 3p,219p  
978-4-12-102384-1

本体 ¥780+税



読売新聞 2018/11/25



**ルポ 中年フリーター～「働けない働き盛り」の貧困～(NHK 出版新書 566)**

小林 美希 著  
NHK出版

非正規雇用で働く 35?54 歳の「中年フリーター」が増加の一途を辿っている。なぜ彼らは好景気にも見放されてしまったのか? フリーターを救う企業はあるのか? 豊富な当事者取材から「見えざる貧困」の実態を描きだす。

2018:11./ 221p  
978-4-14-088566-6

本体 ¥780+税



読売新聞 2018/11/25



**樹木たちの知られざる生活～森林管理官が聴いた森の声～(ハヤカワ文庫 NF 531)**

ペーター・ヴォールレーベン、長谷川 圭 著  
早川書房

樹木たちはコミュニケーションを取り合い、ときに助け合う。その一方で熾烈な縄張り争いをも繰り広げる。学習をし、音に反応し、数を数える。ドイツの森林管理官が、長年の経験と科学的裏付けをもとに、木や森の真実を語る。

2018:11./ 286p  
978-4-15-050531-8

本体 ¥700+税



読売新聞 2018/11/25



**ジャーナリズムの道徳的ジレンマ**

畑仲 哲雄 著  
勁草書房

報道現場で実際に起こった 20 の道徳的難問を物語形式で紹介し、対立する意見、実際の事例と考察を掲載。取材倫理の規範を問いなおす。ウェブサイト『けいそうビブリアオフィル』連載を単行本化。

2018:8./ 7p,246p  
978-4-326-60307-7

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2018/11/25



**ごめん買った～マンガ家の物欲～**

吉田 戦車 著  
光文社

ウルトラマンオーブの食玩、チャドクガ毒針毛固着剤、辛くないカレー粉、減塩用? 油さし...。マンガ家・吉田戦車がさまざまな買い物について綴る。イラストも掲載。『FLASH』連載に描き下ろし等を加えて単行本化。

2018:10./ 195p  
978-4-334-95057-6

本体 ¥1,100+税



読売新聞 2018/11/25



**悪の歴史<東アジア編下南・東南アジア編> 隠されてきた「悪」に焦点をあて、真実の人間像に迫る**

上田 信 著  
清水書院

歴史の教科書に登場する人物の「裏の顔」とは。表の歴史では語られることのない側面から切り込むことで、歴史における彼らの素顔を立体的に解き明かす。東アジア編下 南・東南アジア編は、フビライ、西太后らを取り上げる。

2018:8./ 469p  
978-4-389-50065-8

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/11/25



**愛読の方法(ちくま新書 1363)**

前田 英樹 著  
筑摩書房

見栄でするやたらな読書は、人をどこまでも愚かにする。文字に書かれたものへの軽信を免れるための手だてとは? ショーペンハウエル、アラン、宣長など古今の愛読の達人の営みに範をとり、本に救われる唯一の方法を示す。

2018:10./ 206p  
978-4-480-07173-6  
本体 ¥760+税



読売新聞 2018/11/25



**ガンディーとチャーチル<上> 1857-1929**

アーサー・ハーマン、田中 洋二郎、守田 道夫 著  
白水社

戦争と平和、革命と反動、英雄と民衆、そして勝利と敗北。20 世紀とは果たして何だったのか? ガンディーとチャーチル、2 人の巨人の人生行路を通して明らかにする。上は、1857?1929 年の出来事を描く。

2018:6./ 380p,30p 図  
版 10p  
978-4-560-09641-3



読売新聞 2018/11/25



**ガンディーとチャーチル<下> 1929-1965**

アーサー・ハーマン、田中 洋二郎、守田 道夫 著  
白水社

戦争と平和、革命と反動、英雄と民衆、そして勝利と敗北。20 世紀とは果たして何だったのか? ガンディーとチャーチル、2 人の巨人の人生行路を通して明らかにする。下は、1929?1965 年の出来事を描く。

2018:8./ 390p,40p  
978-4-560-09642-0



読売新聞 2018/11/25



**世界の戦争廃墟図鑑~平和のための歴史遺産~(フォトミュージアム)**

マイケル・ケリガン、岡本 千晶 著  
原書房

世界が滅びたら、こんな眺めになるのではないか。海底に沈む戦車、密林に溶け込む戦闘機、放棄された軍事施設、遺構…。欧米諸国から極東・太平洋地域まで、第二次世界大戦の痕跡を大判写真と簡潔な解説でたどる。

2018:10./ 223p  
978-4-562-05602-6  
本体 ¥5,000+税



読売新聞 2018/11/25



**フィフティ・ピープル(となりの国のものがたり 01)**

チョン セラン、斎藤 真理子 著  
亜紀書房

ガンで余命宣告を受けた母に結婚を急かされるスジョン。血みどろの手術に嬉々として挑む医師ギユン…。死と痛みと悲しみ、回復と再生の物語がすれ違い、交錯する。韓国文学をリードする若手作家による、めくるめく連作短編集。

2018:9./ 485p  
978-4-7505-1564-9  
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/11/25



**ベートーヴェン捏造~名プロデューサーは?をつく~**

かげはら 史帆 著  
柏書房

ベートーヴェンの晩年に、音楽活動や日常生活の補佐役をつとめていたシンドラ。彼はなぜ罪を犯し、どうやってそれを隠し通したのか。音楽史上最大のスキャンダル「会話帳改竄事件」の全貌に迫る歴史ノンフィクション。

2018:10./ 319p  
978-4-7601-5023-6  
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/11/25



**麦の日記帖～震災のあとさき 2010?2018～**

佐伯 一麦 著  
プレスアート

震災から一年経った。午後二時四十六分。仕事の手を止めて、連れ合いとともに、海のほうへ手を合わせる。静かな一日だった。仙台在住作家が「災後」の日々を綴る。『Kappo 仙台闊歩』連載を書籍化。

読売新聞 2018/11/25

2018:11./ 263p  
978-4-9908190-1-9  
本体 ¥2,000+税



**アフター・ヨーロッパ～ポピュリズムという妖怪にどう向きあうか～**

イワン・クラステフ、庄司 克宏 著

岩波書店

移民革命、能力主義的エリートへの反乱等、内部的危機に直面している EU 諸国のリベラル・デモクラシー体制。ソ連解体と東欧革命を体験したブルガリアの知識人が、透徹した歴史的視座から「アフター・ヨーロッパ」を考察する。

日本経済新聞 2018/11/03

2018:8./ 6p,126p,6p  
978-4-00-061286-9

本体 ¥1,900+税



**まちづくり都市金沢(岩波新書 新赤版 1739)**

山出 保 著

岩波書店

なぜ金沢はもう一度訪れたいと思うのか? 北陸新幹線開業後、国内外からの観光客が増えている金沢。長年にわたるまちづくりの過程と、様々な試行錯誤からその答えを探る。人口減などに直面する地方都市のこれからも考察する。

日本経済新聞 2018/11/03

2018:9./ 12p,223p  
978-4-00-431739-5

本体 ¥780+税



**やぶれかぶれ青春記・大阪万博奮闘記(新潮文庫 こ-8-12)**

小松 左京 著

新潮社

作家・小松左京の原点を知る上で必読のテキスト。戦時下の旧制中学時代と戦後の旧制高校生活を描いた自伝的青春小説「やぶれかぶれ青春記」ほか、ブレインとして関わった大阪万博について綴った手記を収録。

日本経済新聞 2018/11/03

2018:10./ 395p  
978-4-10-109712-1

本体 ¥630+税



**アメリカとヨーロッパ～揺れる同盟の 80 年～(中公新書 2504)**

渡邊 啓貴 著

中央公論新社

冷戦、緊張緩和、中東危機、ソ連崩壊、9・11、そしてトランプ政権の現代…。複雑な軌跡を歩んだ米欧の 80 年を、同盟関係に軸足を置きながら論じ、現代史を動かし続ける両者の姿の本質を描き出す。

日本経済新聞 2018/11/03

2018:8./ 4p,240p  
978-4-12-102504-3

本体 ¥820+税



**ホモ・デウス～テクノロジーとサピエンスの未来～<上>**

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著

河出書房新社

人類は不死と幸福、神性を目指し、神のヒト「ホモ・デウス」へと自らをアップグレードする。そのとき、富む者と貧しい者との格差は、創造を絶するものとなる。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

日本経済新聞 2018/11/03

2018:9./ 265p  
978-4-309-22736-8

本体 ¥1,900+税





**ホモ・デウス〜テクノロジーとサピエンスの未来〜<下>**

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著

河出書房新社

生物はただのアルゴリズムであり、コンピューターが人類のすべてを把握する。生物工学と情報工学の発達によって、資本主義や民主主義、自由主義は崩壊し…。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

2018:9./ 284p

978-4-309-22737-5

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2018/11/03



**私のティーアガルテン行**

平出 隆 著

紀伊國屋書店出版部

ベルリンのティーアガルテンで「生涯という迷宮」への豊かな啓示を享けた詩人が、幼少時を追懐し、紙と版への思考を軸に「世界へ踏み出す少年」のみずみずしい感覚を綴った自伝的エッセイ。『scripta』連載を書籍化。

2018:8./ 301p

978-4-314-01163-1

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2018/11/03



**日本という不思議の国へ**

赤坂 憲雄 著

春秋社

神道、芸者、海女、自然の景観。異邦人の紀行に息づいていたのは、日本が忘却した生活風景、いにしへの幻影だった。異邦人たちが紀行のなかに飽かず物語した、神秘なる日本について考察する。『なごみ』連載を元に単行本化。

2018:7./ 226p

978-4-393-42459-9

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2018/11/03



**ドラッカー名言集**

P.F.ドラッカー 著

ダイヤモンド社

日本経済新聞 2018/11/03

2010:12.

978-4-478-01489-9

本体 ¥1,500+税



**つくられた卑弥呼〜<女>の創出と国家〜(ちくま学芸文庫 ㊦ 18-1)**

義江 明子 著

筑摩書房

邪馬台国の女王卑弥呼は「神秘的な巫女」だったのか? 近代に創られたこのイメージを覆し、卑弥呼を政治的実権をもった王として位置づけなおし、さらには卑弥呼に象徴される古代の女性首長たちの実像を明らかにする。

2018:10./ 215p

978-4-480-09891-7

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2018/11/03



**良き社会のための経済学**

ジャン・ティロール、村井 章子 著

日本経済新聞出版社

ノーベル経済学賞受賞者が放つ、本当に役に立つ経済学。全編に渡り経済学のあるべき姿を追及し、国家と市場の関係、気候変動、失業、金融危機等、様々な難題に対して経済学がどのような解決策を示すことができるのかを論じる。

2018:8./ 614p

978-4-532-35782-5

本体 ¥4,200+税



日本経済新聞 2018/11/03



### 高校チュータイ外交官のイチからわかる! 国際情勢

島根 玲子 著  
扶桑社

貧困、移民・難民、食料、エネルギー、関税、自由貿易、核兵器…。やりすごしている重大問題が丸わかり! 元コギャルの高校チュータイ外交官が、外交や世界で起きていることを身近に感じられるよう、わかりやすく解説する。

日本経済新聞 2018/11/03

2018:8./ 325p  
978-4-594-08020-4

本体 ¥1,400+税



### 在日台湾人の戦後史～呉修竹回想録～

呉 修竹、何 義麟 編  
呉 修竹 著  
彩流社

日本に住む華僑は常に北京政府あるいは台湾政府のどちらかへ支持を求められた。戦後の日本・中国・台湾の歴史的関係を映す、在日華僑社会の核心にいた幹部・呉修竹による詳細な回想録。呉修竹の著作集・翻訳集も収録。

日本経済新聞 2018/11/03

2018:9./ 372p  
978-4-7791-2523-2

本体 ¥3,700+税



### 子育て経営学～気鋭のビジネスリーダーたちはわが子をどう育てているのか～

宮本 恵理子 著  
日経BP社

「学校はあえて公立」「スマホは3歳から」「成功体験を重ねる」「経済はメルカリで」…。気鋭のビジネスリーダー10人が実践する、最先端・最強の子育て術を紹介する。『日経ビジネスオンライン』連載をもとに書籍化。

日本経済新聞 2018/11/03

2018:8./ 311p  
978-4-8222-5666-1

本体 ¥1,500+税



### 完本中国古典の人間学～名著二十四篇に学ぶ～

守屋 洋 著  
プレジデント社

「左伝」等、日本の教養の根幹であった中国古典24篇を取り上げ、テーマに即しながら、その内容を紹介する。1984～85年刊「中国古典の人間学 正・続」を合本し、見直し、書き加え、修正をしたもの。

日本経済新聞 2018/11/03

2004:11./ 528p  
978-4-8334-1815-7

本体 ¥2,800+税



### ウェールズ語の歴史

ジャネット・デイヴィス、小池 剛史 著  
春風社

古代ケルト民族ブリトン人のことばであるウェールズ語。英語の圧倒的な影響のもとで力強くしなやかに生き抜いてきた、その長い歴史と文化をわかりやすく解説。国勢調査が示す現代の使用状況や発音・文法も紹介する。

日本経済新聞 2018/11/03

2018:8./ 310p  
978-4-86110-608-8

本体 ¥2,700+税



### 築地・鮭屋の小僧が見たこと聞いたこと～しゃげこさんの市場日記～

佐藤 友美子 著  
いそっぷ社

師走の築地見物からなんの因果か、築地の鮭屋で働くことに! 2013年には前の店主から鮭屋を引き継ぎ、経営者として悪戦苦闘の毎日を送る著者が、河岸の作法、市場の成り立ちを痛快なやりとりを交えて教えます。

日本経済新聞 2018/11/03

2018:9./ 245p  
978-4-900963-79-5

本体 ¥1,600+税





**無常の見方～「聖なる真理」と「私」の幸福～(サンガ新書)**

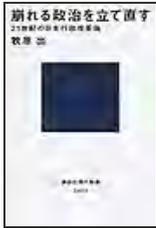
アルボムッレ・スマナサーラ 著  
サンガ

無常に例外はない。事実を受け入れると人生は明るく変化する。一。ブッダが発見した「無常」の本当の意味を明らかにし、日本人の無常観を根底から覆す。2006 年刊「お釈迦さまが教えたこと(1) 無常の見方」を修正し、書籍化。

2009:8./ 306p  
978-4-904507-35-3  
本体 ¥850+税



日本経済新聞 2018/11/03



**崩れる政治を立て直す～21 世紀の日本行政改革論～(講談社現代新書 2493)**

牧原 出 著  
講談社

政治と行政の崩落は国民を失意のどん底に陥れている。気鋭の政治学者が、政と官の制度設計は事前に考えられたものか、制度作動は順調かの原則論に基づきつつ、現安倍政権の政治主導、行政崩壊の核心に迫る。

2018:9./ 246p  
978-4-06-513077-3  
本体 ¥880+税



日本経済新聞 2018/11/03、読売新聞 2018/11/18



**見知らぬものと出会う～ファースト・コンタクトの相互行為論～**

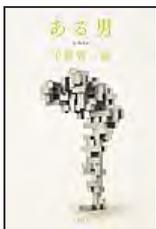
木村 大治 著  
東京大学出版会

もしも宇宙人と出会ったら? “未知との遭遇”の多様な思考実験の場である SF(サイエンス・フィクション)作品を手がかりにファースト・コンタクトを分析し、コミュニケーションの成立条件を明らかにする。

2018:9./ 8p,253p,17p  
978-4-13-013152-0  
本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/11/03、読売新聞 2018/11/18



**ある男**

平野 啓一郎 著  
文藝春秋

里枝には、2 歳の次男を脳腫瘍で失って、夫と別れた過去があった。長男を引き取り、14 年ぶりに故郷に戻ったあと、「大祐」と再婚するが、「大祐」は事故で命を落とす。さらに、衝撃の事実が…。『文學界』掲載を単行本化。

2018:9./ 354p  
978-4-16-390902-8  
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/11/03、毎日新聞 2018/11/04



**諦める力(小学館文庫プレジデントセレクト P た 2-1)**

為末 大 著  
小学館

何かを真剣に諦めることによって、見えなかったものが見えてくる。“走る思想家”為末大が、「前向きに諦める」という心の持ちようを伝える。「暗黙のルール」「人が妄信するとき」「やめる練習」の 3 編を加えた文庫版。

2018:10./ 245p  
978-4-09-470023-7  
本体 ¥700+税



日本経済新聞 2018/11/10



**老いと孤独の作法(中公新書ラクレ 633)**

山折 哲雄 著  
中央公論新社

この国には、老いと孤独を楽しむ豊かな教養がある。西行、鴨長明、芭蕉、良寛…。宗教学者として日本人のさまざまな生と死に思いをめぐらせてきた著者が、みずからの経験を交えつつ、第二の人生をどう充実させるかを考える。

2018:10./ 251p  
978-4-12-150633-7  
本体 ¥860+税



日本経済新聞 2018/11/10



### 医師の不足と過剰～医療格差を医師の数から考える～

桐野 高明 著  
東京大学出版会

「医師不足」は本当か? 医師の養成の歴史に触れるとともに、確かなデータに基づいて医師数とその分布を分析。誰もが質の高い医療を受けられる、あるべき未来を展望する。

2018:9./ 3p,220p  
978-4-13-053028-6  
本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2018/11/10



### デジタル・エイブ～テクノロジーは人間をこう変えていく～

ナイジェル・シャドボルト、ロジャー・ハンブソン、神月 謙一 著  
クロスメディア・パブリッシング

テクノロジーがいつそう進化した未来に、「デジタルなサル(デジタル・エイブ)」にはどんな可能性や課題があるのか。トップクラスの AI 研究者らが、人類の未来を多様な知見をもとに解き明かす。

2018:10./ 447p  
978-4-295-40225-1  
本体 ¥2,180+税



日本経済新聞 2018/11/10



### ぼくは本当にいるのさ

少年アヤ 著  
河出書房新社

すべてを捨て、書く仕事すらやめ、骨董品屋で働いていた日々の記録。自身の過去やセクシュアリティと向き合ってきたエッセイストが、モノや人を通じて「生」を取り戻すまでを綴る。『cakes』連載に書き下ろしを追加。

2018:9./ 201p  
978-4-309-02727-2  
本体 ¥1,450+税



日本経済新聞 2018/11/10



### 顔は口ほどに?をつく(河出文庫 エ 2-1)

P.エクマン 著  
河出書房新社

本音は顔に出やすいが、人間は顔の表情をコントロールすることもできる。感情とその表現研究の第一人者が、相手の本当の感情を読み、自分の?や感情をコントロールする技術を指南する。顔の表情を読むテストつき。

2018:10./ 382p,20p  
978-4-309-46481-7  
本体 ¥1,150+税



日本経済新聞 2018/11/10



### 冷戦史

ロバート・マクマン、青野 利彦、平井 和也 著  
勁草書房

1945年から、アメリカとソ連の対決に終止符が打たれた1990年まで続いた冷戦について、近年の研究成果を取り入れ、同盟国や第三諸国、非国家主体にも目配りし、カギとなる出来事や歴史の趨勢などを解説する。

2018:7./ 8p,242p,15p  
978-4-326-35175-6  
本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2018/11/10



**プラットフォーム・レボリューション～未知の巨大なライバルとの競争に勝つために～**

ジェフリー・G.パーカー、マーシャル・W.ヴァン・アルスタイン、サンジート・ポール・  
チョーダリー、妹尾 堅一郎、渡部 典子 著

ダイヤモンド社

現代において、経済的・社会的に重要な発展を遂げてきたビジネスモデル・組織モデルである「プラットフォーム」。インテル、マイクロソフトなど、様々な企業の事例を紹介し、プラットフォームの力や変化の構造を明らかにする。

日本経済新聞 2018/11/10

2018:8./ 16p,499p  
978-4-478-10003-5

本体 ¥2,400+税



**セル看護が医療現場を救う～患者本位のカイゼン型経営～**

麻生 泰 著

日本経済新聞出版社

ナースステーションにいる時間を極力削減し、その分を患者のそばにいる時間にシフトする。患者本位の「セル看護」システムを導入する飯塚病院の、カイゼン型経営のエッセンスを紹介。病院の働き方改革の進め方がわかる書。

日本経済新聞 2018/11/10

2018:10./ 239p

978-4-532-32241-0

本体 ¥2,000+税



**中国人民解放軍～「習近平軍事改革」の実像と限界～(PHP新書 1155)**

茅原 郁生 著

PHP研究所

日本の3.6倍の18兆円の国防費を持つ中国。国共内戦、朝鮮戦争、中越戦争などの歴史から、劇的に進化する最新状況と弱点まで、世界覇権を狙う中国人民解放軍の軍事力の全貌を伝える。

日本経済新聞 2018/11/10

2018:9./ 393p

978-4-569-84131-1

本体 ¥980+税



**中国はここにある～貧しき人々のむれ～**

梁 鴻、鈴木 将久、河村 昌子、杉村 安幾子 著

みすず書房

都市の繁栄と農村の荒廃。近代化の矛盾に苦しむ農村に、現代中国の姿を浮かび上がらせる。中国文学の研究者でもある著者が、故郷の農村の現状を描き出したノンフィクション。

日本経済新聞 2018/11/10

2018:9./ 304p

978-4-622-08721-2

本体 ¥3,600+税



**冷戦史を問いなおす～「冷戦」と「非冷戦」の境界～**

益田 実、池田 亮、青野 利彦、齋藤 嘉臣 著

ミネルヴァ書房

核兵器開発、西側同盟、脱植民地化…。いかなる歴史的諸要素が「冷戦」という事象を構成していたのか、多様な事例を通して解明。またそれらはどこまで「冷戦」と独立/従属していたかを、辺縁国まで視野に入れて検討する。

日本経済新聞 2018/11/10

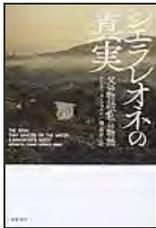
2015:12./

17p,397p,11p

978-4-623-07470-9

本体 ¥7,000+税





**シエラレオネの真実～父の物語、私の物語～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 3-7)**

アミンナッタ・フォルナ、澤 良世 著

亜紀書房

1975年、父は国家反逆罪で絞首刑になった。シエラレオネ人の父とスコットランド人の母をもつ作家が、幼い日の悲しい記憶を辿り、家族の物語を通して「破綻国家の真実」を明らかにしたノンフィクション。

日本経済新聞 2018/11/10

2018:9./ 465p  
978-4-7505-1558-8

本体 ¥2,400+税



**戦後国際関係史～二極化世界から混迷の時代へ～**

モーリス・ヴァイス、細谷 雄一、宮下 雄一郎 著

慶應義塾大学出版会

第二次世界大戦後、世界は二極化を経て、なぜ現在のような混迷の時代になったのか。戦後史を外交や軍事だけでなく、経済・社会・文化の広い視点から、ダイナミックに描き出す。日本や中国を含む東アジア地域についても論じる。

日本経済新聞 2018/11/10

2018:8./ 10p,396p  
978-4-7664-2534-5

本体 ¥3,500+税



**冷戦変容と歴史認識(シリーズ転換期の国際政治 2)**

菅 英輝 著

晃洋書房

冷戦後も日米安保体制から一歩踏み出せない状況が続く日本の対外政策。そのため、日本は米国の政策に追随、従属してきたと捉える論調が増えている。その要因を探り、今日の日本外交が直面する諸問題を熟考する機会を提供する。

日本経済新聞 2018/11/10

2017:2./ 6p,302p,6p  
978-4-7710-2796-1

本体 ¥4,500+税



**新たな覇者の条件～なぜ日本企業にオープンイノベーションが必要なのか?～**

尾崎 弘之 著

日経BP社

味の素、サントリー、ソニー、トヨタ自動車、リクルート、JR 九州…。日本を代表する51社の大企業取材し、「イノベーション実現のプロセス」を抽出。大きな変化の先駆者になるための道筋を示す。

日本経済新聞 2018/11/10

2018:9./ 253p  
978-4-8222-5579-4

本体 ¥1,600+税



**日本語誤用辞典～外国人学習者の誤用から学ぶ日本語の意味用法と指導のポイント～**

市川 保子、浅山 友貴、荒巻 朋子、板井 美佐、太田 陽子、坂本 まり子、杉本 ろここ、副島 昭夫、田代 ひとみ、野田 景子、本郷 智子 著

スリーエーネットワーク

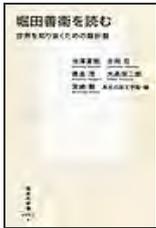
外国人学習者が日本語を習得するうえでおかし誤りから得た、日本語理解や指導のポイントをまとめた辞典。助詞・接続詞など170項目の見出し項目と、学習者の作文・テスト解答文などに基づく誤用例文2720文を収録。

日本経済新聞 2018/11/10

2010:4./ 799p  
978-4-88319-522-0

本体 ¥3,200+税





**堀田善衛を読む～世界を知り抜くための羅針盤～(集英社新書 0952)**

池澤 夏樹、吉岡 忍、鹿島 茂、大高 保二郎、宮崎 駿、高志の国文学館 編  
池澤 夏樹、吉岡 忍、鹿島 茂、大高 保二郎、宮崎 駿 著  
集英社

「時間」「方丈記私記」「ゴヤ」...。堀田作品は、第一線で活躍する創作者たちに多大な影響を与え続けている。作家・堀田善衛を敬愛する池澤夏樹、吉岡忍らが、堀田とその作品の魅力、そして今に通じるメッセージを読み解く。

日本経済新聞 2018/11/10、朝日新聞 2018/11/17

2018:10./ 221p  
978-4-08-721052-1  
本体 ¥820+税



**ウーマン・イン・ザ・ウィンドウ<上>**

A.J.フィン、池田 真紀子 著  
早川書房

家族と生活を別にして、ニューヨークの高級住宅街の屋敷に1人で暮らすアナ。広場恐怖症で外に出られない彼女の慰めは、古い映画とアルコール、そして隣近所を覗き見ること。ある日、アナは隣家で女が刺される現場を目撃し...

日本経済新聞 2018/11/10、朝日新聞 2018/11/24

2018:9./ 299p,3p  
978-4-15-209796-5  
本体 ¥1,600+税



**ウーマン・イン・ザ・ウィンドウ<下>**

A.J.フィン、池田 真紀子 著  
早川書房

家族と生活を別にして、ニューヨークの高級住宅街の屋敷に1人で暮らすアナ。広場恐怖症で外に出られない彼女の慰めは、古い映画とアルコール、そして隣近所を覗き見ること。ある日、アナは隣家で女が刺される現場を目撃し...

日本経済新聞 2018/11/10、朝日新聞 2018/11/24

2018:9./ 318p  
978-4-15-209801-6  
本体 ¥1,600+税



**異教の隣人**

釈 徹宗、毎日新聞「異教の隣人」取材班、細川 貂々 著  
晶文社

ご近所には異教徒さんがいっぱい! イスラム教、ユダヤ教、ヒンドゥー教からコプト正教まで、気鋭の宗教学者と取材班がさまざまな信仰の現場を訪ね歩いて考えたルポ。『毎日新聞』大阪本社版連載を加筆・再構成。

日本経済新聞 2018/11/10、毎日新聞 2018/11/11

2018:10./ 283p  
978-4-7949-7061-9  
本体 ¥1,650+税



**江戸東京の明治維新(岩波新書 新赤版 1734)**

横山 百合子 著  
岩波書店

維新の激動に飲み込まれた江戸。諸大名の一斉帰国で人口は一挙に激減。横行する浮浪士のテロ、荒廃する屋敷地、流動化する身分。秩序が解体してゆく東京で、時代の変化に食らいつき、必死にもがきつづけた人びとの明治維新史。

日本経済新聞 2018/11/17

2018:8./ 11p,197p  
978-4-00-431734-0  
本体 ¥780+税



**ルイ・アルチュセール～行方不明者の哲学～(岩波新書 新赤版 1738)**

市田 良彦 著  
岩波書店

「哲学と政治において「行方不明者」でなければならない。それが「私」の存在だ」現代思想を代表するマルクス主義理論家か、妻を殺めた狂気の人か。知られざるアルチュセールの哲学を浮かび上がらせる。

日本経済新聞 2018/11/17

2018:9./ 3p,248p  
978-4-00-431738-8  
本体 ¥860+税





**スターバックスの教え～感動経験でお客様の心をギュッとつかむ!～**

目黒 勝道 著  
朝日新聞出版

どんな企業もすぐに実践できるスタバの基本とは? 現場を知りつくし、教育・人事制度を構築したスターバックスの元組織開発マネージャーが、最強のチームを生み出すしくみ・発想・カルチャーを初めて明かす。

日本経済新聞 2018/11/17

2014:7./ 218p  
978-4-02-331300-2

本体 ¥1,300+税



**フランス外人部隊～その実体と兵士たちの横顔～(角川新書 K-231)**

野田 力 著  
KADOKAWA

今日、自分は死ぬかもしれない。主に外国籍の兵士で構成されるフランス外人部隊。6年半在籍し、アフガニスタン戦争も経験した日本人が、その経験を余すところなく綴る。

日本経済新聞 2018/11/17

2018:9./ 202p  
978-4-04-082245-7

本体 ¥840+税



**中世都市～社会経済史的試論～(講談社学術文庫 2526)**

アンリ・ピレンヌ、佐々木 克巳 著  
講談社

地中海を囲む古代世界は、ゲルマン侵入とイスラーム勢力の海上侵出により、いかに衰頹し、どのように変容したのか。20世紀を代表する中世史家が著した、ヨーロッパ中世都市成立史の不朽の名著。

日本経済新聞 2018/11/17

2018:10./ 362p  
978-4-06-513161-9

本体 ¥1,280+税



**神と金と革命がつくった世界史～キリスト教と共産主義の危険な関係～**

竹下 節子 著  
中央公論新社

偶像崇拝なくして歴史はつくられなかった! 「普遍」を標榜する神と金と革命思想は、理想を追求する過程で偶像化され、共闘や排斥を繰り返す。壮大な歴史から三すくみのメカニズムを解明し、超克の可能性を探る。

日本経済新聞 2018/11/17

2018:9./ 267p  
978-4-12-005114-2

本体 ¥2,700+税



**最強の4人に学ぶ快活・元気・ハツラツと!子どもと先生が心底幸せなクラスづくり (日本一元気が出ちゃう LIVE)**

金 大竜、中村 健一、土作 彰、俵原 正仁 著  
明治図書出版

子どもと一緒にいるのが幸せでたまらないクラスをつくりませんか? 学級づくりのプロ4人が、厳しさと、優しさと、楽しさがある、いいクラスづくりのヒントを紹介します。

日本経済新聞 2018/11/17

2015:6./ 144p  
978-4-18-181520-2

本体 ¥2,000+税



**新任3年目までに必ず身に付けたい!子どもがサッと動く統率のワザ 68～学級崩壊の対処に悩む教師が時間も労力も10分の1で解決する秘密～(学級経営サポートBOOKS)**

西野 宏明 著  
明治図書出版

「子どもにこうなってほしい」という願いはあるけど思い通りに動かせなくて、クラスを荒れさせてしまった。そんな若手の先生に向けて、「事前指導」と「評価」のセットで子どもを伸ばし学級崩壊を防ぐシンプルなワザを紹介。

日本経済新聞 2018/11/17

2016:8./ 159p  
978-4-18-222913-8

本体 ¥1,800+税





### もしも心電図が小学校の必修科目だったら

香坂 俊 著  
医学書院

P波の和音からSTまで、現場視点の心電図の読み方を臨場感たっぷりに伝授。心電図が苦手な人でもとっつきやすいよう、小学校の「科目別」に心電図の各領域を並び替えて解説する。『週刊医学界新聞』連載を改題して書籍化。

2013:3./ 9p,181p  
978-4-260-01711-4

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2018/11/17



### わたしたちが火の中で失くしたものの

マリアーナ・エンリケス、安藤 哲行 著  
河出書房新社

家の前に母親と住む汚い子供、通りで見つけた頭蓋骨、「燃える女たち」の反乱…。ラテンアメリカ新世代の<ホラー・プリンセス>による濃密なゴシックワールド。人間の無意識を見事にえぐり出す悪夢のような12の短篇を収録。

2018:8./ 241p  
978-4-309-20748-3

本体 ¥2,650+税



日本経済新聞 2018/11/17



### ボクたちのBL論(河出文庫 さ41-1)

サンキュータツオ、春日 太一 著  
河出書房新社

BL(ボーイズラブ)を愛してやまないサンキュータツオが、BLと縁遠い世界に生きてきた春日太一に、BLの魅力の全てを徹底講義する、前人未到のBL入門。「おっさんずラブ」などを語る文庫特別編も収録。

2018:11./ 371p  
978-4-309-41648-9

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2018/11/17



### 高学年児童と「ぶつからない」「戦わない」指導法!

城ヶ崎 滋雄 著  
学陽書房

小学校高学年の子どものらしさとは何か、教師としてそれにどう対応し、指導すればいいのかを解説。基本の叱り方・ほめ方はもちろん、距離のとり方、声かけ、男女別の指導のコツなどが満載。

2017:4./ 121p  
978-4-313-65333-7

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/11/17



### 職員室がなくなったら読む本。

瀧澤 真 著  
学陽書房

職員室の人間関係でストレスをためないコツ、味方が増える同年代との関係術、仕事力をアップさせる先輩との関係術、新しい職場での心構え…。「いづらい職員室」を「ワクワク職員室」に変える、教師の人間関係術を伝授する。

2018:3./ 133p  
978-4-313-65347-4

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/11/17



### 歴史学者と読む高校世界史～教科書記述の舞台裏～

長谷川 修一、小澤 実 著  
勁草書房

高校世界史と大学の歴史学は別物? 今現在高校の世界史において全ての高校生が用いる教科書が、どのようなメディアであり、どのような問題をはらみ、またどのような可能性を持ちうるかを論じる。シンポジウムをもとに書籍化。

2018:6./ 15p,261p  
978-4-326-24848-3

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/11/17



### 歴史を歴史家から取り戻せ!～史的な思考法～(歴史総合パートナーズ 1)

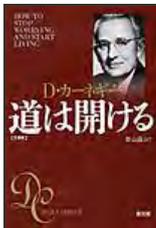
上田 信 著  
清水書院

私たちはどこから来たのか、私たちは何者か、私たちはどこへ行くのか。歴史を造るのは誰か。「モノ・イミ・ヒト」の位相とは-。不確定な時代に必要な歴史的なものの考え方を「史的な思考法」として提示する。

2018:8./ 84p  
978-4-389-50084-9  
本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2018/11/17



### 道は開ける

D.カーネギー 著  
創元社

「悩みに関する基本事項」「悩みを分析する基礎技術」「批判を気にしない方法」など、悩みの正体を明らかにし、悩みを解決する原則を具体的に明示。多くの人々を励ましつづけてきた名著の文庫版。

2016:1./ 346p  
978-4-422-10099-9  
本体 ¥700+税



日本経済新聞 2018/11/17



### 家(チベ)の歴史を書く

朴 沙羅 著  
筑摩書房

「私の家族はいつどのように、どうして済州島から大阪へとやってきたのか。その後どうやって生きたのか」気鋭の社会学者による、家族への親愛と歴史への洞察に満ちた、自身の家(チベ)の記録。

2018:9./ 317p  
978-4-480-81848-5  
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/11/17



### 北海道小清水「オホーツクの村」ものがたり～人工林を原始の森へ 40年の活動誌～

竹田津 実 著  
平凡社

1970年代、北海道東部の小清水町。ある日、気がつくと入植以来の隣人であるシマフクロウやキツネ、ヒグマ、ムクドリたちがいなくなっていた。普通の自然を取り戻して、彼ら呼び戻さなくちゃ-。自然創成の活動記録。

2018:10./ 221p  
978-4-582-52736-0  
本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/11/17



### 公文書問題と日本の病理(平凡社新書 895)

松岡 資明 著  
平凡社

公文書の管理を巡る問題が続出している。なぜ、日本では民主主義の根幹である「記録」が疎かにされるのか。公文書問題に先駆的に取り組んできた著者が、その核心を衝き、根底にある病根を抉る。

2018:10./ 223p  
978-4-582-85895-2  
本体 ¥800+税



日本経済新聞 2018/11/17



### 教養のグローバル・ヒストリー～大人のための世界史入門～

北村 厚 著  
ミネルヴァ書房

高校世界史 B の教科書にある内容をもとに、地域や文化をつなぐネットワークを俯瞰したグローバル・ヒストリーの通史。多数の地図や図版とともに世界中が結びあう歴史を学ぶ、大人のための世界史入門。

2018:5./ 19p,326p,18p  
978-4-623-08288-9  
本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/11/17



### 今さら聞けない心電図

池田 隆徳 著  
メジカルビュー社

心電図のとり方・読み方の基本から、さまざまな疾患の特徴的な所見まで、日常診療において今さら聞けない心電図に関する疑問を余すことなく取り上げ、Q&A形式でわかりやすく解説。

日本経済新聞 2018/11/17

2010:6./ 293p  
978-4-7583-0198-5

本体 ¥4,800+税



### カタブツ皇帝陛下は新妻への過保護がとまらない(ペリーズ文庫 も 1-4)

桃城 猫緒 著  
スターツ出版

内気な公爵令嬢のモニカは、絶対的権力者である皇帝リュディガーから突然求婚される。新婚初夜、モニカは緊張のあまり失敗してしまう。そんなウブな妻を甘やかす、彼の独占愛に戸惑うモニカだが…。ヒストリカルファンタジー。

日本経済新聞 2018/11/17

2017:5./ 313p

978-4-8137-0254-2

本体 ¥620+税



### 溺あま御曹司は甘ふわ女子にご執心(ペリーズ文庫 も 3-2)

望月 いく 著  
スターツ出版

ぼっちゃり女子の陽芽は、就職説明会で会った次期社長に一目ぼれ。一念発起しダイエットをし、見事就職を果たすが、彼が恋していたのは…。『Berry's Cafe』掲載を文庫化。書き下ろし番外編も収録。

日本経済新聞 2018/11/17

2017:10./ 331p

978-4-8137-0333-4

本体 ¥630+税



### ビジョナリー・カンパニー 時代を超える生存の原則

ジェームズ・C.コリンズ、ジェリー・I.ポラス 著  
日経BP社

3M、IBM、ディズニーなど時代を超え際立った存在であり続ける企業 18 社を選び出し、設立以来現在に至る歴史全体を徹底的に調査、ライバル企業と比較検討し、永続の源泉を「基本理念」にあると解き明かす。

日本経済新聞 2018/11/17

1995:9./ 472p

978-4-8227-4031-3

本体 ¥1,942+税



### あなたが心電図を読めない本当の理由(わけ)<続々>

村川 裕二 著  
文光堂

日常診療に必要な心電図判読のエッセンスと、それを取り巻く知識をわかりやすく紹介。拡張型心筋症に似た心臓、労作性狭心症など、さまざまな話題を取り上げる。『メディカル朝日』連載を書籍化。

日本経済新聞 2018/11/17

2010:10./ 91p

978-4-8306-1905-2

本体 ¥2,800+税



### カミングアウト～LGBTの社員とその同僚に贈るメッセージ～

ジョン・ブラウン、松本 裕 著  
英治出版

「世界で最も尊敬される CEO」にも選ばれた著者が、職業人生の中でゲイである自分を隠し続けた日々とカミングアウトの経験、多くの LGBT ビジネスパーソンへの取材から語る、職場の性的少数者と周囲の人々へのアドバイス。

日本経済新聞 2018/11/17

2018:9./ 299p

978-4-86276-259-7

本体 ¥1,900+税





**3秒で心電図を読む本～Safety Driving on 12 - lead Electrocardiogram～**

山下 武志 著  
メディカルサイエンス社

限られた診療時間の中で求められるのは、効率よく心電図を読み解き、速やかに次の医療行動を決定すること。「視線」と「視点」に着目した新しい心電図の読み方を提案します。

2010:3./ 168p  
978-4-903843-07-0  
本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2018/11/17



**流砂**

黒井 千次 著  
講談社

70歳の息子は思想検事だった父の記した「思想犯の保護を巡って」自己の所信を開陳した報告書を見つけた。息子は父の過去に向き合い、己の来し方を確かめようとははじめる…。自伝的長篇小説。『群像』連載を単行本化。

2018:10./ 222p  
978-4-06-513309-5  
本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2018/11/17、産経新聞 2018/11/25、毎日新聞 2018/11/25



**ブルジョワ～歴史と文学のあいだ～**

フランコ・モレッティ、田中 裕介 著  
みすず書房

「世界文学」の旗手が、奔放かつ緻密な精読をとおして展開する、エンターテインメントとしての歴史記述。数々の文学作品や社会科学書の分析から「ブルジョワ」の実態を浮彫りにする。

2018:9./ 260p,28p  
978-4-622-08723-6  
本体 ¥4,800+税



日本経済新聞 2018/11/17、朝日新聞 2018/11/24



**私が愛する世界(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 3-6)**

ソニア・ソトマイヨール、長井 篤司 著  
亜紀書房

物質的な貧しさ、慢性的な病気、そして母一人の手で育てられたこと…。なぜ、逆境にあっても意気をくじかれず、むしろ奮起することができたのか。恵まれぬ環境で夢を追った、米国初のヒスパニック系女性最高裁判事の回想録。

2018:9./ 430p  
978-4-7505-1555-7  
本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2018/11/17、朝日新聞 2018/11/24



**司馬江漢～「江戸のダ・ヴィンチ」の型破り人生～(集英社新書 0951)**

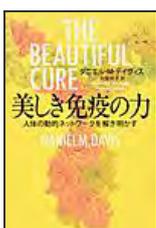
池内 了 著  
集英社

遠近法を先駆的に取り入れた天才画家にして、地動説を人々に紹介した科学者でもあり、かつ文筆家。「江戸のダ・ヴィンチ」とでも呼ぶべき才人・司馬江漢に関する記録を丹念に読み解き、その破天荒な人生の全体像を描き出す。

2018:10./ 317p  
978-4-08-721051-4  
本体 ¥940+税



日本経済新聞 2018/11/24



**美しき免疫の力～人体の動的ネットワークを解き明かす～**

ダニエル・M.デイヴィス、久保 尚子 著  
NHK出版

免疫学に革命をもたらした大発見をたどりながら、驚くほど精密で、ダイナミックな免疫システムの全体像に迫る。また、ストレスや加齢と免疫の相互作用や、がんの免疫療法など、健康に関わる最新の知見も紹介する。

2018:10./ 357p  
978-4-14-081757-5  
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2018/11/24



**そしてだれも信じなくなった(文春文庫 つ 11-25)**

土屋 賢二 著  
文藝春秋

敬語の存在意義、やたら待たされる銀行、習慣がもたらす弊害...。「だれも信じられない」出来事の数々(あるいはだれにも信じられない自身)に出会った哲学者のユーモア・エッセイ集。『週刊文春』連載を文庫化。

2018:11./ 214p  
978-4-16-791178-2  
本体 ¥630+税



日本経済新聞 2018/11/24



**人体はこうしてつくられる～ひとつの細胞から始まったわたしたち～**

ジェイミー・A.デイヴィス、橘 明美 著  
紀伊國屋書店出版部

直径 0.1mm の細胞が、思考し言葉を操る生物になるまで-。未解明領域の残る<ヒトの発生>という生命現象のプロセスを、基本である細胞分裂や、生体と人工物の構築方法の本質的な違いなども含めて平易に解説する。

2018:11./ 441p  
978-4-314-01164-8  
本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/11/24



**熱狂のソムリエを追え!～ワインにとりつかれた人々との冒険～**

ビアンカ・ボスカー、小西 敦子 著  
光文社

味覚や嗅覚を磨くことに人生を賭けた「ワイン命」のソムリエたち。その取材に乗り出した著者は、やがて自分もソムリエ資格を取ろうと決心し...。女性ジャーナリストによる体験型・体当たり取材型ノンフィクション。

2018:9./ 459p  
978-4-334-96224-1  
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2018/11/24



**才能の正体(NEWSPICKS BOOK)**

坪田 信貴 著  
幻冬舎

才能の芽は必ずあなたの中にある! 受験から人材育成まで数多の奇跡を生んだ著者が、個人の才能の伸ばし方や、才能ある人材をどう見出し、どう育成していくかについての具体的なメソッドをまとめる。

2018:10./ 313p  
978-4-344-03368-9  
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/11/24



**わたしの城下町～天守閣からみえる戦後の日本～(ちくま学芸文庫 キ 7-2)**

木下 直之 著  
筑摩書房

明治以降「無用の長物」となった城は、新たな価値をにない、昭和・平成を生き続けている。ホンモノ、ニセモノ、現役、退役...。江戸城、小田原城、駿府城、名古屋城など、様々なお城から見えてくる日本の近・現代史。

2018:11./ 415p  
978-4-480-09893-1  
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/11/24



**マンキューマクロ経済学<1> 第4版 入門篇**

N.グレゴリー・マンキュー、足立 英之、地主 敏樹、中谷 武、柳川 隆 著  
東洋経済新報社

マクロ経済学のグローバル・スタンダード・テキスト。1 は、「古典派理論:長期の経済」「景気循環理論:短期の経済」について、豊富なケース・スタディを交えて解説する。復習問題、応用問題も掲載。

2017:11./ 39p,533p  
978-4-492-31504-0  
本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2018/11/24



### マンキューマクロ経済学<2> 第4版 応用篇

N.グレゴリー・マンキュー、足立 英之、地主 敏樹、中谷 武、柳川 隆 著  
東洋経済新報社

マクロ経済学のグローバル・スタンダード・テキスト。2 は、経済成長理論、マクロ経済学のミクロ的基礎や、新しい古典派と新しいケインジアン の諸業績などを紹介する。豊富なケース・スタディ、復習問題、応用問題も収録。

2018:8./ 36p,380p  
978-4-492-31510-1

本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2018/11/24



### AIと憲法

山本 龍彦、市川 芳治 著  
日本経済新聞出版社

憲法を主題に、AI そのものに着目して、権利義務の主体たる人格ないし人権の享有主体たる個人の位置付けと、そうした主体から構成される社会における集合的な意思決定とその実現を担う統治のあり方を問う。

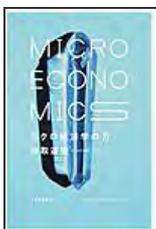
2018:8./ 473p

978-4-532-13485-3

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/11/24



### ミクロ経済学の力

神取 道宏 著  
日本評論社

すべての人に、エコノミック・リテラシーを! 著者による東京大学経済学部のミクロ経済学の講義をもとに、経済学の標準的な内容を、現実の事例とともに徹底的にわかりやすく解説する。『経済セミナー』連載を加筆し、書籍化。

2014:9./ 12p,537p

978-4-535-55756-7

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2018/11/24



### 英語原典で読む経済学史

根井 雅弘 著  
白水社

英語力を鍛えながら、経済学を学ぼう! アダム・スミスからリカード、ミル、ケインズまで、英語原典に直に触れながら、経済学の歴史をたどる。知的刺激を覚醒させる一冊。『web ふらんす』連載に加筆し書籍化。

2018:10./ 250p

978-4-560-09656-7

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/11/24



### 経済学者はこう考えてきた～古典からのアプローチ～(平凡社新書 893)

根井 雅弘 著  
平凡社

富と所得の不平等、恐慌、インフレ、金融危機…。偉大な経済学者の思想や学説にこそ、経済問題の解決へのヒントが隠されている! 経済思想史家の立場から経済学の初歩を説く入門書。

2018:10./ 277p

978-4-582-85893-8

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2018/11/24



### 生存する意識～植物状態の患者と対話する～

エイドリアン・オーウェン、柴田 裕之 著  
みすず書房

「植物状態」と診断された患者の脳が、問いかけに Yes と No で答えるなどの認知活動をやってのけた事実が明らかとなった。意識があるかないかの二分法では捉えきれない「グレイ・ゾーン」を探究する、緊迫の研究報告。

2018:9./ 293p,14p

978-4-622-08735-9

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/11/24



### エレクトリック・マイルス

ポール・ティンゲン、麦谷 尊雄 著  
水声社

<ジャズの帝王>マイルス・デイヴィス。エレクトリック期以降の四半世紀(1967?1991年)、人跡未踏の音楽の極北に挑み続けた彼の軌跡を、友人・知人など 50 人を超える関係者の証言をもとに徹底解剖する。

日本経済新聞 2018/11/24

2018:8./ 478p  
978-4-8010-0354-5  
本体 ¥6,000+税



### 美女と拳銃(BLOOM COLLECTION)

オリヴィエ・プリオル、中条 省平、中条 志穂 著  
TAC出版

アリョーシャとデイミトリは、スマホと大胆だけを武器に、カンヌ映画祭に乗りこみ、大ばくちを打つ。共犯に引きずりこまれたのは、カトリーヌ・ドヌーヴと謎の監督ジャン＝リュック・ゴダール…。映画を題材にした冒険小説。

日本経済新聞 2018/11/24

2018:10./ 311p  
978-4-8132-7157-4  
本体 ¥2,000+税



### 小学校通知表ポジティブ所見辞典～子どもの様子にピタリとはまる 1588 文例～

土田 雄一 編  
教育開発研究所

子どもの特徴・実態・様子をもとに引ける通知表所見文例辞典。指導要録の評価項目に準じた内容の文例を探せる「学習面・生活面目次」、ネガティブな特徴をポジティブな表現に変換した「ネガ→ポジ言い換え表」付き。

日本経済新聞 2018/11/24

2014:7./ 311p  
978-4-87380-673-0  
本体 ¥1,800+税



### 村井邦彦の LA 日記

村井 邦彦 著  
リットーミュージック

「翼をください」の作曲者で、アルファレコードを創業した村井邦彦。LA 在住の彼が、音楽界の要人とのエピソードをはじめ、本、映画、演劇、食、旅について綴った初のエッセイ集。同人誌『月刊てりとり』連載を書籍化。

日本経済新聞 2018/11/24、読売新聞 2018/11/25

2018:10./ 339p,3p  
978-4-8456-3305-0  
本体 ¥2,200+税



### 血の雫

相場 英雄 著  
新潮社

都内で発生した連続殺人事件。難航する捜査に警察への批判が高まる中、犯人がネットメディアに声明を出したことで、事件は劇場型犯罪へと発展し…。SNS の闇を抉る社会派ミステリ。『週刊新潮』連載を改稿し単行本化。

毎日新聞 2018/11/03

2018:10./ 397p  
978-4-10-350762-8  
本体 ¥1,700+税



### 「明治礼賛」の正体(岩波ブックレット No.986)

斎藤 貴男 著  
岩波書店

歴史を改竄し、国策として進められる「明治礼賛」。その背後にある構想は、財界の意向を尊重し、また対米従属下で軍国主義へと舵をきる 21 世紀版<殖産興業・富国強兵>ではないのか。その実態を暴き、この国のゆくえを問う。

毎日新聞 2018/11/04

2018:9./ 71p  
978-4-00-270986-4  
本体 ¥580+税





**生きづらい明治社会～不安と競争の時代～(岩波ジュニア新書 883)**

松沢 裕作 著  
岩波書店

景気の急激な変動、出世競争、貧困…。さまざまな困難と向き合いながら、明治時代の人々はどう生きたのか？ 不安と競争をキーワードに、明治という社会を読み解く。

2018:9./ 14p,162p  
978-4-00-500883-4

本体 ¥800+税



毎日新聞 2018/11/04



**終焉(集英社文庫 キ 15-3)**

ハラルト・ギルバース、酒寄 進一 著  
集英社

1945年5月、ベルリン陥落。街をソ連軍が占領した。ユダヤ人元刑事オッペンハイマーはソ連軍大佐から「ナチスの原爆開発に関わる資料を捜し出せ」と密命を受ける。一方、オッペンハイマーの妻リザはソ連兵にレイプされ…。

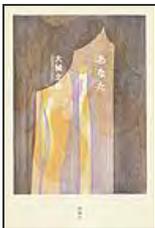
2018:7./ 549p

978-4-08-760752-9

本体 ¥1,100+税



毎日新聞 2018/11/04



**あなた**

大城 立裕 著  
新潮社

あなたを見守り、そして見送るなかで、ともに過した夫婦の時間は、行きつ戻りつしながら、私の胸にさらに深く刻まれた…。沖縄に生きる日々を綴る小説集。『新潮』掲載を単行本化。

2018:8./ 235p

978-4-10-374007-0

本体 ¥1,750+税



毎日新聞 2018/11/04



**墓が語る江戸の真実(新潮新書 786)**

岡崎 守恭 著  
新潮社

その墓はなぜそこにあり、誰が建てたのか？ 並び方の意味は？ 春日局の執念、お由羅騒動の真相、家光兄弟の確執、越前家始祖の本心など、墓が語る江戸時代の愛憎と恩讐の物語 10 話を紹介する。

2018:10./ 203p

978-4-10-610786-3

本体 ¥740+税



毎日新聞 2018/11/04



**牧水の恋**

俵 万智 著  
文藝春秋

旅と酒の歌人・若山牧水は、恋の歌人でもあった。若き日をささげた恋人の持つ秘密とは。高校時代に牧水の短歌に出会って心から共感した著者が、牧水の恋の絶頂から疑惑、別れまでの秀歌を味わいつくす評伝文学。

2018:8./ 290p

978-4-16-390888-5

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/11/04



**サラダ記念日～俵万智歌集～**

俵 万智 著  
河出書房新社

「この味がいいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日 スパゲティの最後の一本食べようとしているあなた見ている私 20 歳のおわりから 24 歳までの 430 余首を収めた第 1 歌集。

2016:7./ 190p

978-4-309-02488-2

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/11/04



**読書について(光文社古典新訳文庫 KB シ 1-1)**

ショーペンハウアー 著

光文社

なにを、どう読むか。あるいは読まずにすませるか。読書の達人であり一流の文章家だった哲学者・ショーペンハウアーが、痛烈かつ辛辣なアフォリズムを交えて紹介する知的読書法。

2013:5./ 194p

978-4-334-75271-2

本体 ¥743+税



毎日新聞 2018/11/04



**猫のためいき鶴の寝言十七音の内と外**

正木 ゆう子 著

春秋社

たった一度すれ違った人、一羽の鳥、よぎった思い。微かな思念、瞬間の情感-眼前に立ち現れる記憶に心が揺れ動き…。俳人・正木ゆう子が、誰もに起こる普通の事を掬いあげて綴ったエッセイ集。『西日本新聞』連載を単行本化。

2018:10./ 136p

978-4-393-43655-4

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/11/04



**amazon～世界最先端の戦略がわかる～**

成毛 眞 著

ダイヤモンド社

アマゾンとはどのようにして他社を圧倒する企業となったのか。なぜ利益にならないような新サービスを次々と提供するのか。アマゾンの描く未来構想も含めて、巨大企業の全貌を明かす。ビジネスの基礎知識も身につく。

2018:8./ 373p

978-4-478-10505-4

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/11/04



**池上彰の「天皇とは何ですか？」**

池上 彰 著

PHP研究所

天皇制はいつできたの？ 生前退位は何年ぶり？ 宮家って何？ いまさら聞けない天皇と皇室の話を、池上彰がわかりやすく解説する。元侍従長・渡邊允との対談も収録。

2018:7./ 253p

978-4-569-84073-4

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/11/04



**ならず者たちのギャラリー～誰が「名画」をつくりだしたのか？～**

フィリップ・フック、中山 ゆかり 著

フィルムアート社

レンブラントを雇い、才能を開花させた男、セザンヌの市場価値をつくった男、ピカソらキュビストを発見し、応援した男…。サザビーズの競売人が、美術史と美術品の価値に影響を与えた魅力的な画商たちを紹介する。

2018:8./ 498p,12p

978-4-8459-1715-0

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2018/11/04



**まぼろしの奇想建築～天才が夢みた不可能な挑戦～(NATIONAL GEOGRAPHIC)**

フィリップ・ウィルキンソン、関谷 冬華 著

日経ナショナルジオグラフィック社

2階建てのゾウ建築、球形のニュートン記念堂、高さ1.6キロの高層ビル…。中世から20世紀に至るまで、構想されながらも「幻」と消えた建築を紹介。建築家や芸術家、思想家が夢に描いた、壮大で妄想に満ちた挑戦をたどる。

2018:10./ 256p

978-4-86313-418-8

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2018/11/04



### 辺境メシ～ヤバそうだから食べてみた～

高野 秀行 著  
文藝春秋

ヒキガエルジュース、ラクダ井、水牛の脊髄炒め、サルの燻製脳味噌、アマゾンの口?み酒、胎盤餃子…。辺境探検家が、今まで食べた世界各地の珍奇な食品や料理について綴る。『週刊文春』連載を単行本化。

2018:10./ 311p  
978-4-16-390919-6  
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/11/04、産経新聞 2018/11/25



### ベルリンは晴れているか

深緑 野分 著  
筑摩書房

1945年7月、4カ国統治下のベルリン。米国の兵員食堂で働くドイツ人少女アウグステは、恩人の男の不審な死を知り、彼の甥に訃報を伝えるため旅立つ。しかし、なぜか陽気な泥棒を道連れにする羽目になり…。歴史ミステリ。

2018:9./ 475p  
978-4-480-80482-2  
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/11/04、東京・中日新聞 2018/11/18、日本経済新聞 2018/11/24



### 胃弱・痲癩・夏目漱石～持病で読み解く文士の生涯～(講談社選書メチエ 685)

山崎 光夫 著  
講談社

心の暗部を描き続けた夏目漱石は、多病持ちだった。次々襲う病と彼はいかに闘ったのか、それは文学にどんな影響を与えたのか。作品、書簡、家族の証言、当時のカルテ等をもとに、病という切り口から夏目漱石の生涯を読み解く。

2018:10./ 317p  
978-4-06-513381-1  
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/11/04、日本経済新聞 2018/11/10、東京・中日新聞 2018/11/11



### ヒロインズ

ケイト・ザンブレノ 著  
C. I. P. Books

夫との関係や作家としての苦悩、過去の回想や日常の記録に、モダニズムの巨匠たちの妻や愛人などミュージズたちをはじめ、女性の作家たちや架空のヒロインたち、インターネット時代の書き手たちを織り合わせて綴る。

2018:7./ 409p,15p  
978-4-9909971-0-6  
本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2018/11/04、毎日新聞 2018/11/18



### 語り継ぐいのちの俳句～3・11 以後のまなざし～

高野 ムツオ 著  
朔出版

東日本大震災が俳句にもたらしたものは何か。第一線で活躍する俳人・高野ムツオが震災後、7年にわたって書き、語り続けてきた心揺さぶる言葉の数々を、「震災詠100句 自句自解」とともに収録する。

2018:10./ 205p  
978-4-908978-17-3  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/11/05



### 龍華記

澤田 瞳子 著  
KADOKAWA

高貴な出自でありながら、悪僧(僧兵)として南都興福寺に身を置く範長は、南都入りする国検非違使別当らを阻止せんと、般若坂に向かう。だがそこには思わぬ乱戦が待ちかまえていて…。『小説野性時代』連載を加筆し単行本化。

2018:9./ 323p  
978-4-04-107215-8  
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/11/11



**山家集(角川ソフィア文庫 A245-1)**

西行、宇津木 言行 著  
KADOKAWA

雅と俗、数奇と仏道、宗教と社会といった対立を併せ呑む歌の数々を収め、西行自身が何度も改編を重ねるほど熱意を傾けたという代表的家集「山家集」。本文と語釈のほか、詳細な補注、校訂一覧、解説等を収載する。

毎日新聞 2018/11/11

2018:9./ 447p  
978-4-04-400063-9  
本体 ¥1,160+税



**本屋風情(角川ソフィア文庫 L127-1)**

岡 茂雄 著  
KADOKAWA

繊細で几帳面な南方熊楠、気が短く「じれる」柳田国男…。自らを「裏木戸の出入り人」と呼んだ本屋(出版業)しか知りえなかった、貴重な近代日本の出版事情がわかる回想記録。伝説の編集者が学者・文人たちの裏の顔を綴る。

毎日新聞 2018/11/11

2018:10./ 294p  
978-4-04-400422-4  
本体 ¥1,080+税



**キャパになれなかったカメラマン〜ベトナム戦争の語り部たち〜<上>(講談社文庫 ひ 51-1)**

平敷 安常 著  
講談社

生き生きと躍動していた仲間の記者、カメラマンたちが、突然骸になる。戦場という極限状況の中で、出会い、競い、励まし合いながら成長した若者たち。戦争の真の姿を伝えようとした、著者と仲間たちの、血と涙の従軍記。

毎日新聞 2018/11/11

2012:5./ 577p  
978-4-06-277264-8  
本体 ¥943+税



**不連続殺人事件(新潮文庫 さ-2-3)**

坂口 安吾 著  
新潮社

山奥の洋館で起こる殺人事件。乱倫と狂態の中に残された「心理の足跡」とは。坂口安吾初の本格探偵小説にして、日本ミステリ史に輝く名作。自らの原稿料を賭けた「読者への挑戦状」、短篇「アンゴウ」も収録。

毎日新聞 2018/11/11

2018:9./ 410p  
978-4-10-102403-5  
本体 ¥520+税



**平原の町(ハヤカワ epi 文庫)**

コーマック・マッカーシー 著  
早川書房

19歳のジョン・グレイディは幼い娼婦と激しい恋に落ちるが……。国境三部作の完結篇。

毎日新聞 2018/11/11

2010:1./ 495p  
978-4-15-120058-8  
本体 ¥1,060+税



**光の人**

今井 彰 著  
文藝春秋

激動の戦後、1000人の孤児たちの命と未来を守りぬいた人がいた。職も我欲もなげうって、半世紀に及ぶ茨の道を歩いた…。「プロジェクト X」の元プロデューサーが、実在の人物をモデルに描いた感動の物語。

毎日新聞 2018/11/11

2018:9./ 346p  
978-4-16-390897-7  
本体 ¥1,800+税





**姫君たちの明治維新(文春新書 1184)**

岩尾 光代 著  
文藝春秋

150年前、城や屋敷の奥深くで蝶よ花よと育てられた姫君たちを襲った時代の大波。引き裂かれた初恋、落城、我が子との別れ…。悲しく、儚く、だけどここか逞しい31人の女性の明治維新物語。『サンデー毎日』連載を新書化。

毎日新聞 2018/11/11

2018:9./ 261p,3p  
978-4-16-661184-3

本体 ¥980+税



**未来のだるまちゃんへ(文春文庫 か72-1)**

かこ さとし 著  
文藝春秋

「からすのパンやさん」「だるまちゃん」とてんぐちゃん」をはじめ、数々の作品で知られる絵本作家のかこさとしが、迷い道の人生、絵本に込めた希望、尊敬してやまない子どもたちへの思いなどを綴る。

毎日新聞 2018/11/11

2016:12./ 269p

978-4-16-790758-7

本体 ¥660+税



**私説集英社放浪記～「月刊明星」「プレイボーイ」から新書創刊まで～**

鈴木 耕 著  
河出書房新社

25歳から61歳まで、36年間、集英社に在籍。「月刊明星」「月刊PLAYBOY」「週刊プレイボーイ」ほか部署異動を繰り返した末、集英社新書の創刊編集長を務めた編集者が、出版社ジャーナリズムの黄金時代を語る。

毎日新聞 2018/11/11

2018:10./ 229p

978-4-309-02738-8

本体 ¥1,800+税



**ブエノスアイレス午前零時(河出文庫 ふ4-8)**

藤沢 周 著  
河出書房新社

雪のホテル、ダンスホール、老嬢と青年のタンゴ…リカル・ハードボイルドな芥川賞受賞の名作。森田剛主演、行定勲演出で舞台化!

毎日新聞 2018/11/11

2014:10./ 140p

978-4-309-41324-2

本体 ¥500+税



**雷鳴と稲妻～気象の過去、現在、未来～**

ローレン・レドニス、徳永 里砂 著  
国書刊行会

以前は美しく平穏だった墓地。しかしハリケーン・アイリーンによって水浸しになり…。異常気象が日常化する現代。アメリカの新進気鋭作家が気象と人々のさまざまな関わりを、独創的なアートとルポルタージュで紡ぐ。

毎日新聞 2018/11/11

2018:10./ 261p

978-4-336-06290-1

本体 ¥8,800+税



**十代目柳家小三治(別冊太陽)**

平凡社

落語界の至宝・柳家小三治。最後の名人が考える「落語」とはなにか? インタビューやルポ、弟子が語る素顔などを通して、十代目柳家小三治の至芸の秘密、人生の来歴まで、貴重なビジュアルと共に徹底的に解き明かす。

毎日新聞 2018/11/11

2018:9./ 127p

978-4-582-94587-4

本体 ¥1,600+税





**ことばのペンきょう<4> くまちゃんのかいもの(福音館のペーパーバック絵本)**

加古里子 著  
福音館書店  
毎日新聞 2018/11/11

1986:5./ 47p  
978-4-8340-0578-3  
本体 ¥600+税



**だいこんだんめんれんこんざんねん(かがくのとも絵本)**

加古 里子 著  
福音館書店  
物を切ったときの平らな切り口を「断面」、断面の絵のことを「断面図」と呼びます。野菜や果物、食器など、さまざまな物の断面と断面図を紹介します。断面図を使った遊びも載っています。

2010:10./ 27p  
978-4-8340-2585-9  
本体 ¥900+税



毎日新聞 2018/11/11



**書物のある風景～美術で辿る本と人との物語～**

デイヴィッド・トリッグ、赤尾 秀子 著  
創元社  
読書をする子たち、いろんな姿でいろんな場所で読みふける大人たち、しかめ面で読む者、本を手を遠くをながめる者...。世界各地の美術館やコレクションから、古今東西の書物のある風景を描いた 300 点超の芸術作品を収録する。

2018:10./ 351p  
978-4-422-70116-5  
本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2018/11/11、朝日新聞 2018/11/17



**ヒットの設計図～ポケモン GO からトランプ現象まで～**

デレク・トンプソン、高橋 由紀子 著  
早川書房  
スターウォーズ、ポケモン GO、フェイスブック...。なぜそれがヒットしたのか? 多くのメガヒットの作り手や仕掛け人に話を聞き、ネットワーク理論の専門家にも取材し、ヒットの背景にあるシンプルなルールを解き明かす。

2018:10./ 390p  
978-4-15-209802-3  
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/11/11、日本経済新聞 2018/11/17



**禅海一瀾(岩波文庫 青 335-1)**

今北 洪川、太田 悌蔵 著  
岩波書店  
今北洪川禅師が周防岩国藩主吉川侯のために儒言をもって禅を説いたもの。上巻では、神・儒・老・仏の中に禅を説き、下巻では、書・易・大学・中庸・論語・孟子などから重要な語典 30 則を抜いて禅的評釈を付した。

1935:6./ 118p  
978-4-00-333351-8  
本体 ¥460+税



毎日新聞 2018/11/18



**本土空襲全記録(NHK スペシャル)**

NHK スペシャル取材班 著  
KADOKAWA  
2 万ページに及ぶアメリカ軍の戦闘報告書・作戦記録を日本地図に落とし込むと、浮かび上がったのは予想をはるかに上回る被害の実態だった...。太平洋戦争における本土空襲の全体像に迫る。NHK スペシャルをもとに書籍化。

2018:8./ 157p  
978-4-04-106736-9  
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/11/18



### 草薙の剣

橋本 治 著  
新潮社

10代から60代まで、世代の異なる6人の男たちと彼らの祖父母まで遡るそれぞれの人生を辿り、日本人の心の100年を描き、現代のありようを根底から問い返す。作家デビュー40周年記念長篇小説。『新潮』掲載を単行本化。

毎日新聞 2018/11/18

2018:3./ 347p  
978-4-10-406115-0

本体 ¥1,700+税



### 日中戦争と中ソ関係～1937年ソ連外交文書邦訳・解題・解説～

河原地 英武、平野 達志、家近 亮子、川島 真、岩谷 将 著  
東京大学出版会

ソ連・中国関係のロシア語史料集から、日中戦争が勃発した1937年部分の史料を抜粋・翻訳。解題のほか、ソ連の対中・対日認識、中国の対日方針等に関する解説も収録する。多角的な視野から日中戦争を考える基礎となる本。

毎日新聞 2018/11/18

2018:9./ 6p,337p

978-4-13-020307-4

本体 ¥6,000+税



### 「少年A」この子を生んで……～父と母悔恨の手記～(文春文庫)

「少年A」の父母 著  
文芸春秋

毎日新聞 2018/11/18

2001:7./ 273p

978-4-16-765609-6

本体 ¥520+税



### 心にナイフをしのばせて(文春文庫)

奥野 修司 著  
文芸春秋

毎日新聞 2018/11/18

2009:4./ 325p

978-4-16-775367-2

本体 ¥650+税



### 四畳半から東証一部上場へ

木地 英雄 著  
クロスメディア・パブリッシング

バブル崩壊直後、四畳半一間から起業し、あまたの苦難を乗り越え、ときには幸運にも恵まれて、東証一部上場へ。イメージセンサー向け光源装置で世界トップシェアを誇る企業の起業物語。

毎日新聞 2018/11/18

2018:10./ 215p

978-4-295-40220-6

本体 ¥1,480+税



### 封印された殉教<上>

佐々木 宏人 著  
フリープレス

終戦3日後に暗殺された、カトリック横浜教区長・戸田帯刀神父。戸田神父の関係者の話や資料をもとに事件の背景に迫るとともに、その生涯をたどる。上は1898年の生誕から、1942年に逮捕されるまでを描く。

毎日新聞 2018/11/18

2018:8./ 438p

978-4-434-24981-5

本体 ¥2,000+税





### ドイツ職人紀行

池内 紀 著  
東京堂出版

眼鏡師、書店、ビールづくり、タバコ商、かつら師、船乗り、とむらい屋…。ドイツ職人の歴史・由来・変化そして現代の姿を紹介する珠玉のエッセイ集。『NHK ラジオドイツ語講座』連載を書籍化。

2018:9./ 271p  
978-4-490-20992-1

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/11/18



### 世界のかわいい本の街

アレックス・ジョンソン、井上 舞 著  
エクスナレジ

教会も小学校も書店に姿を変えた街、人も建物も本にまつわるものだけの都市…。新刊書店や古書店、出版社、印刷業者がそれぞれの魅力を活かして作りあげた、世界各地の「本の街」を、美しいカラー写真とともに紹介する。

2018:9./ 192p  
978-4-7678-2500-7

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/11/18



### 絶歌〜神戸連続児童殺傷事件〜

元少年 A 著  
太田出版

1997年6月28日。僕は、僕ではなくなった。僕はもはや血の通ったひとりの人間ではなく、無機質な「記号」になった。酒鬼薔薇聖斗を名乗った少年 A が 18 年の時を経て、自分の過去と対峙し、切り結び著した生命の手記。

2015:6./ 294p  
978-4-7783-1450-7

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/11/18



### つたえるエッセイ〜心にとどく文章の書き方〜

重里 徹也、助川 幸逸郎 著  
新泉社

方法をつかめば、思いや考えが相手につたわる文章が書ける! 失敗や挫折、失恋や不幸といった人生のマイナスカードをプラスに変えて、相手の心を揺さぶる、生きた文章の書き方のコツを紹介する。現役大学生の文章添削例付き。

2018:10./ 214p  
978-4-7877-1813-6

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/11/18



### 海の歴史

ジャック・アタリ、林 昌宏 著  
ブレジデント社

海を支配する者が、世界を制覇する。宗教、文化、技術、企業、国家、帝国の推移に重要な役割を果たしてきた海。海の誕生から将来までを、人類の歴史とともに描き出す。

2018:9./ 387p,11p  
978-4-8334-2297-0

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2018/11/18



### 本居宣長

熊野 純彦 著  
作品社

吉田松陰、佐佐木信綱、丸山眞男、相良亨…。本居宣長をめぐる近代日本の精神史を検討。また、その蓄積をふまえ、若き日々から萬葉研究、「古事記傳」や「秘本玉くしげ」まで、宣長の全体像を描く。

2018:9./ 4p,899p  
978-4-86182-705-1

本体 ¥8,200+税



毎日新聞 2018/11/18



### 環境史入門

J.ドナルド・ヒューズ、村山 聡、中村 博子 著

岩波書店

学界を牽引してきた碩学による、環境史の入門書。人文・社会・自然諸科学の融合を特徴とする環境史の学問的な歩みをたどり、その課題と今後の研究のあり方を考える。

毎日新聞 2018/11/25

2018:10./ 9p,191p

978-4-00-061302-6

本体 ¥2,800+税



### 地球 46 億年気候大変動～炭素循環で読み解く、地球気候の過去・現在・未来～ (ブルーバックス B-2074)

横山 祐典 著

講談社

なぜ地球の気候はかくも劇的に変化したのか？ 謎を解く鍵は炭素にあった！最新の地球惑星科学が解き明かした、驚くべき地球の気候大変動のからくりを、科学者やその周辺の人々のエピソードを交えながら紹介する。

毎日新聞 2018/11/25

2018:10./ 334p

978-4-06-513515-0

本体 ¥1,200+税



### 除染と国家～21世紀最悪の公共事業～(集英社新書 0957)

日野 行介 著

集英社

福島第一原発事故後に数兆の予算を投じられ行われた除染作業。その効果は怪しいままに避難住民の支援は打切られ帰郷を促されている。環境省の非公開会合の記録を入手した著者が、官僚、学者に取材し、為政者の真意を暴く。

毎日新聞 2018/11/25

2018:11./ 248p

978-4-08-721057-6

本体 ¥860+税



### ゆうじょう(新潮文庫 む-18-1)

村田 喜代子 著

新潮社

幼くして熊本の廓に売られてきたイチ。廓の学校に通いながら、一人前の娼妓となっていくイチが眼の当たりにする女たちの悲哀。しかし明治の改革は廓にも及び、ついに娼妓たちがストライキを起こす…。静かな感動作。

毎日新聞 2018/11/25

2016:2./ 377p

978-4-10-120351-5

本体 ¥630+税



### 外国人が見た日本～「誤解」と「再発見」の観光150年史～(中公新書 2511)

内田 宗治 著

中央公論新社

外国人は何を見たいのか。日本人は何を見せたいのか。外国人による見どころランキングの変遷や、日本人による観光客誘致をめぐる賛否両論を紹介し、日本の魅力はどこにあるのか、誰がどう発見し、アピールするのかを追う。

毎日新聞 2018/11/25

2018:10./ 3p,274p

978-4-12-102511-1

本体 ¥880+税



### 江戸吉原の経営学

日比谷 孟俊 著

笠間書院

多様な文化を内包する江戸の遊里・吉原。従来の研究が進められてきた文化的側面を俯瞰しつつ、一次資料や当時の案内書などの情報から経営面を実証的に検証。妓楼の経営者たちや経営実態、遊女のマネジメント等を読み解く。

毎日新聞 2018/11/25

2018:3./ 362p

978-4-305-70892-2

本体 ¥5,400+税





### バーの主人がこっそり教えるおつまみサンド

間口 一就 著  
柴田書店

パンにバターやマスカルポーネチーズ、白味噌、ピーナッツバターをぬって、ハムや唐揚げ、酢豚、お漬けもの、羊羹など手元にある食材をはさむだけ。銀座のバー「ロックフィッシュ」の店主がおつまみサンドのレシピを紹介する。

2018:8./ 94p  
978-4-388-06293-5  
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/11/25



### 官房長官と幹事長～政権を支えた仕事師たちの才覚～(青春新書 INTELLIGENCE PI-557)

橋本 五郎 著  
青春出版社

トップリーダー1 人の力で政治が動いているのではない。官房長官や幹事長が、時に清濁併せのみながら政治力を発揮していくことで、物事が動いていく。政治の表舞台からは見えてこない、彼らの役割と仕事師ぶりを明らかにする。

2018:11./ 185p  
978-4-413-04557-5  
本体 ¥920+税



毎日新聞 2018/11/25



### 柴田元幸ベスト・エッセイ(ちくま文庫 し 51-1)

柴田 元幸 著  
筑摩書房

言葉をめぐり膨らむ妄想。例文が異常に面白い辞書。名曲の斬新過ぎる解釈。そして工業地帯で育った日々の記憶…。翻訳家として知られる著者が、1980年代から現在まで様々な媒体に発表したエッセイを自選する。

2018:10./ 325p  
978-4-480-43545-3  
本体 ¥840+税



毎日新聞 2018/11/25



### がんの時代

中川 恵一 著  
海竜社

世界でもトップクラスのがん大国、日本。がん治療の課題や放射線治療の現在、予防と対処の仕方、病院との正しいつきあい方など、「国民病」を飼いならす方法を紹介。養老孟司との対談も収録。『日本経済新聞』等掲載を書籍化。

2018:10./ 213p  
978-4-7593-1629-2  
本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/11/25



### 神戸閨市からの復興～占領下にせめぎあう都市空間～

村上 しほり 著  
慶應義塾大学出版会

「日本一の大閨市場」とも称された神戸三宮の閨市。戦災復興の原点となった閨市の発生から衰退までの軌跡を辿り、そこから新たな商業空間が根付き、また展開していく過程を、多角的な調査と資料で生き生きと描き出す。

2018:11./ 347p,32p  
978-4-7664-2566-6  
本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2018/11/25



### すきな映画を仕事にして

中野 理恵 著  
現代書館

振り返ると、毎日がお祭り騒ぎのように慌しく過ぎ、喧嘩ばかりした恥をかきっ放しの仕事人生だった。映画配給会社・パンドラの社長が、自身の半生を瑞々しい筆致で綴る。ウェブマガジン『neoneo』連載を加筆し書籍化。

2018:10./ 206p  
978-4-7684-7648-2  
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/11/25



**元吉原考**

石崎芳男 著

近代文芸社

毎日新聞 2018/11/25

1994:11./ 286p

978-4-7733-3643-6

本体 ¥2,427+税



\* 9 7 8 4 7 7 3 3 3 6 4 3 6 \*



**KIPUKA**

岩根 愛 著

青幻舎

夏の3ヶ月間、ハワイの仏教寺院で開催される「ボンダンス」。12年間ハワイへ通い続ける岩根愛は、「フクシマオンド」との出会いに導かれ、原曲の地を求め福島へ…。おしよせる熱気や生きる姿をまっすぐに捉えた初写真集。

2018:10./ 1冊(ページ

付なし)

978-4-86152-718-0

本体 ¥7,000+税



\* 9 7 8 4 8 6 1 5 2 7 1 8 0 \*

毎日新聞 2018/11/25